

平成 21 年度市政モニター 第 2 回アンケート結果

テーマ 1

「認知症の対応について」

健康福祉部高齢者支援課

テーマ 2

「八王子の観光について」

産業振興部観光課

八王子市総合政策部広聴広報室

目 次

《市政モニターの属性》	1	
テーマ 1 【認知症の対応について】		
◆問1	認知症についてどの程度知っていたか	3
◆問2	あなたや家族が認知症になるかもしれないという不安があるか	3
◆問3	認知症に対する不安の理由は何か	4
◆問4	あなたや家族が認知症になったら、誰（どこ）に相談するか	5
◆問5-1	あなたが認知症になった場合、どのような介護を受けるのがよいと思うか	6
◆問5-2	御家族が認知症になった場合、どのような介護を受けるのがよいと思うか	10
◆問6	認知症になった時、できるだけ在宅で暮らしていくにはどのようなサービスが必要だと思うか	15
◆問7	認知症になった時、できるだけ在宅で暮らしていくには地域とのかかわりは必要だと思うか	16
◆問8	認知症の方やその家族を地域で支える場合、中心になる組織はどこだと思うか	17
◆問9	認知症サポーターを積極的に活用するとしたら、市としてどのような取り組みをしたらよいか	18
◆問10	現行の介護保険制度において、限られた予算の中で、認知症対策にかけられる予算とサービスの兼ね合いで、あなたの考え方に最も近いものはどれか	19
◆問11	認知症の高齢者が住み慣れた地域で生活しやすくなるには、どのような対応策が必要か（自由記入）	20
テーマ 2 【八王子の観光について】		
◆問1	八王子市の観光に関心はあるか	33
◆問2-1	どの観光地を訪れたことがあるか	34
◆問2-2	どの観光イベントに参加または訪れたことがあるか	35
◆問3	遠方の友人・知人に案内をしたいと思う観光地および観光イベントは何か	36
◆問4	市外に発信したいと思う八王子市の観光の特長は何か	38
◆問5	自身で観光する場合、または市内を案内する場合に観光地やイベントなどの情報をどのような方法で入手するか	39
◆問6	市の観光施策について知っているか	40
◆問7-1	市の観光振興のための環境整備において、特に力を入れてほしいものは何か	43
◆問7-2	市の観光振興のためのPR（宣伝）において、特に力をいれてほしいものは何か	44
◆問8	市の観光への姿勢について、どのように考えるか	44
◆問9	八王子市の観光にどのような関わり方をしたいか	45
◆問10	観光行政について（自由記入）	46

≪ 市政モニターの属性 ≫

(太枠内は今回の回収数)

		一般		Eメール		合計	
全体		39	39	60	58	99	97
性別	男性	11	11	32	31	43	42
	女性	28	28	28	27	56	55
年代	10歳代	0	0	1	1	1	1
	20歳代	0	0	7	6	7	6
	30歳代	16	16	18	17	34	33
	40歳代	5	5	7	7	12	12
	50歳代	5	5	5	5	10	10
	60歳代	9	9	20	20	29	29
	70歳代	3	3	2	2	5	5
	80歳代	1	1	0	0	1	1
地区	中央 (本庁地区)	8	8	14	13	22	21
	西南部 (浅川・横山・館地区)	8	8	13	12	21	20
	東部 (由木・由木東・南大沢地区)	6	6	15	15	21	21
	西部 (元八王子・恩方・川口地区)	6	6	5	5	11	11
	東南部 (由井・北野地区)	7	7	11	11	18	18
	北部 (加住・石川地区)	4	4	2	2	6	6

※ アンケート実施期間:平成 21 年9月4日から平成 21 年9月 17 日まで

※ 回収率:97.9%

※ 回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で表示した。(百分率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出してあるため、合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。)

テーマ1 認知症の対応について

健康福祉部高齢者支援課

現在、何らかの認知症の症状がある高齢者は高齢者人口の約1割程度、その半数以上が居宅で生活していると推計されています。

高齢化の急速な進展に伴い、ひとり暮らし高齢者や高齢者夫婦のみの世帯が増加していくことを考えると、これまで以上に家族介護に頼ることが困難であると考えられます。

今後、認知症の方やその家族が地域で安心して暮らしていくためには、介護保険制度のサービスだけでなく、独自のサービスのほか、認知症に対する理解の促進、地域での見守り体制の構築、更には、介護や医療機関との連携等総合的な取り組みが必要です。

今回のアンケートは今後、認知症への取り組みを進めていく上での基礎資料とするものです。下記の説明資料をお読みの上、アンケートにお答えください。

◎認知症について

認知症は単なる老化による物忘れのことを言うのではなく、記憶障害（たとえば今聞いたことを忘れてしまう）、見当識障害（日時、場所、人がわからない）、理解・判断力の低下等といった中核症状と、「うつ」や幻覚、物盗られ妄想、徘徊、暴言、暴行等の周辺症状があり、人により症状も様々です。

認知症の原因となる病気は様々ですが、「アルツハイマー型」と「脳血管性」が割合の多くを占めます。

認知症の疾患によっては予防や治療が可能なものや進行を抑えることができるものもあり、早期発見・早期治療が重要です。

ただし、症状によっては精神疾患等と間違えやすく、認知症に対する間違った認識や偏見もあり、早期発見、早期治療を妨げ、誤った対処によってひどく症状が出てしまうことがあるようです。

認知症の高齢者は症状が進行すると理解力が低下したり、感情表現が極端になったりしていきます。

しかし、内面の喜怒哀楽の感情は豊かに生きていて、その人らしい心の部分は持ちつづけていると言われているため、周りの対応によっては焦燥感、喪失感等を抱きやすくなります。

そのため周囲の者が認知症に対する正しい理解で認知症高齢者の人格やそれまでの生活を尊重して支援する必要があります。

◎認知症周知の取り組み

認知症について広く知っていただくためのキャンペーン「認知症サポーター100万人キャラバン」が全国で展開されていて、今年開始から5年目で、目標のサポーター養成100万人を達成しています。

認知症サポーターは認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者として日常生活の中での支援をしていただく方です。

サポーターとして何か特別に活動するものではなく、友人や家族にその知識を伝えたり、隣人として、あるいは商店街、交通機関、まちで生活したり、働く人として自分ができる範囲でサポート活動をしてもらうものです。

多くのサポーターを養成することで、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指すものです。

「認知症サポーター養成講座」を受講したサポーターには、その証として認知症を支援する「目印」としてのプレスレット「オレンジリング」をお渡ししています。

今後、本市でもこれまで以上に養成講座を開催していく予定です。

問1 説明資料「認知症について」をお読みになって、あなたは認知症についての程度ご存知でしたか。(〇は1つだけ)

(n=97)

	構成比(%)
ある程度知っていた	55.7
あまり知らなかった	30.9
よく知っていた	13.4
認知症という言葉をはじめて聞いた	0.0

認知症についての程度知っているかきいたところ、「ある程度知っていた」が5割半ば(55.7%)で最も高かった。一方、「認知症という言葉をはじめて聞いた」は、0.0%であった。

問2 あなたや御家族が認知症になるかもしれないという不安がありますか。(〇は1つだけ)

(n=97)

	構成比(%)
ある⇒問3へ	85.6
ない⇒問4へ	13.4
無回答	1.0

あなたや御家族が認知症になるかもしれないという不安はあるかきいたところ、「ある」が8割半ば(85.6%)と最も高かった。

問3 (問2で「ある」と答えた方)

認知症に対する不安の理由は何ですか。

(〇はいくつでも)

(n=83)

	構成比(%)
家族や周りの人に負担や迷惑をかけるから	80.7
物事の判断や理解ができなくなるから	67.5
治療や介護を受けることで、経済的負担が増すから	62.7
どの程度の介護サービスが受けられるか分からないから	57.8
寝たきりや身体が自由がきかなくなるから	51.8
家族を介護し続けられるか分からないから	34.9
だまされたり、犯罪に巻き込まれたりするから	27.7
介護してくれる人がいないから	21.7
認知症についてよく知らないから	4.8
その他	3.6
無回答	1.2

(複数回答)

問2で「ある」と答えた方に、認知症に対する不安の理由をきいたところ、「家族や周りの人に負担や迷惑をかけるから」が約8割(80.7%)で最も高かった。「物事の判断や理解ができなくなるから」が7割弱(67.5%)、「治療や介護を受けることで、経済的負担が増すから」が6割強(62.7%)と続いた。

【その他】

- 1 介護をすることで精神的に追いつめられたりしないか不安。
- 2 自宅を売却して施設に入所。
- 3 愛されなく、または愛さなくなってしまうかもしれない。

問4 もしも、あなたや御家族が認知症になったら、誰（どこ）に相談しますか。（○はいくつでも）

(n=97)

	構成比(%)
家族	68.0
医療機関	59.8
地域包括支援センター ※1	50.5
ケアマネージャー ※2	33.0
友人・知人	30.9
高齢者支援課（市役所本庁舎）	30.9
保健所（旭町）	10.3
保健センター（平岡町）	4.1
その他	4.1
無回答	2.1

(複数回答)

あなたや御家族が認知症になったら、誰（どこ）に相談するか聞いたところ、「家族」が7割弱（68.0%）で最も高く、「医療機関」が6割弱（59.8%）、「地域包括支援センター」が約5割（50.5%）と続いた。

【その他】

- 1 相談できなくなっているかも。
- 2 医療機関で選択項目にある「ケアマネージャー」や「地域包括支援センター」のような機関をすすめられたら、「ケアマネージャー」や「地域包括支援センター」へ相談する。
- 3 どこに相談したらよいかわからない。
- 4 整体師、インターネットなどの認知症周辺の人が集まったコミュニティ。

※1 地域包括支援センターとは、介護保険法で定められた、地域の高齢者やその家族に必要な援助・支援を行うための機関です。八王子市は12か所設置し、総合相談、権利擁護、介護予防マネジメント（要支援者へのケアプラン作成）等を総合的に行うため、保健師、主任ケアマネージャー、社会福祉士等の専門職員を配置しています。

※2 ケアマネージャー（介護支援専門員）とは、介護保険の要介護と認定された人が、適切な介護サービスを受けられるようにするために、介護サービス計画（ケアプラン）を作成する専門職のことです。

問5-1 もしも、あなたが認知症になった場合、どこでどのような介護を受けるのがよいと思いますか。理由も含めてお答えください。

(○は1つだけ)

(n=97)

	構成比(%)
在宅で介護保険制度のサービスを利用して、必要であれば施設入所したい	43.3
在宅でサービス利用するよりも、できるだけ施設入所したい	28.9
在宅で介護保険制度のサービスを利用して、家族の介護負担を軽減したい	19.6
在宅で介護保険制度のサービスを利用して、できれば施設入所しない	5.2
在宅で家族による介護を中心にして、介護保険制度のサービスをできるだけ利用しない	1.0
その他	2.1

あなたが認知症になった場合、どのような介護を受けるのがよいと思うか聞いたところ、「在宅で介護保険制度のサービスを利用して、必要であれば施設入所したい」が4割強(43.3%)で最も高く、「在宅でサービス利用するよりも、できるだけ施設入所したい」が3割弱(28.9%)と続いた。

「在宅で介護保険制度のサービスを利用して、必要であれば施設入所したい

(43.3%)」を選んだ理由 ※()内は同一意見数

- 1 家族への負担は減らしたいから。(4)
- 2 出来れば在宅で過ごしたいから。
- 3 家族に迷惑をかけたくはないが、できるだけ自宅で生活をしたいから。
- 4 出来るだけ家族に迷惑をかけたくないから。
- 5 家にいたい、家族に負担をできるだけかけたくない。
- 6 家族のそばにはいたい、大きな負担になることは避けたいため。
- 7 なるべくなら家に居たいが、認知症の程度によっては家族に負担をかけたくないので施設に入所したい。
- 8 認知症軽度の場合は、在宅とサービスを利用したい。症状が重くなってきたら、家族に負担をかけたくないので、施設に入りたい。

- 9 認知症は進行性のあるものなので、初期の段階では施設入所より、在宅支援で生活刺激のあるほうがよいと思う。被害妄想などのように、他者とのかわりが困難になる場合は、介護する者の負担が尋常ではないので、愛する家族にそのような負担をかけるよりは、経済的に可能であれば施設入所がよいと思う。
- 1 0 最終的には、施設に入所もあり得ると、覚悟はしているが、介護保険制度のサービスを受けることにより負担が軽減され、家族で支えあえる事が出来る間は在宅介護を希望している。
施設での介護の実態や様子がまだよく分からないので、不安がある。元気な間に、見学などが出来るのであれば、しておく必要があると、今改めて感じているところである。
- 1 1 家族の元で暮らしたいが、迷惑をかけるくらいなら施設入所することもやむを得ない。
- 1 2 介護する家族の負担を考えると施設入所もやむを得ない。
- 1 3 住み慣れた家で暮らせるのに越したことはないが、徘徊が出てきたり、家族が面倒をみきれない程度になった場合は、在宅介護は限界だと思うから。
- 1 4 祖母が認知症で母が介護をしていたが、精神的にも肉体的にも大変だったので。
- 1 5 近所の認知症の人の様子を見ていて、そのように思っている。
- 1 6 重度になると在宅では無理。
- 1 7 経済的側面と症状の面と総合的に判断し、家族の負担が強い場合は、家族のために入所をする。
- 1 8 優先順位が選択項目の「在宅で介護保険制度のサービスを利用して、必要であれば施設入所したい」であるため
- 1 9 自分が家族の厄介者になるのは絶対にイヤだから。限りなく選択項目の「在宅でサービス利用するよりも、出来るだけ施設入所したい」に近い「在宅で介護保険制度のサービスを利用して、必要であれば施設入所したい」である。
- 2 0 家族に介護全てを依存できないため。
- 2 1 家族での対応がかなり難しいと考えられるから。
- 2 2 家族の負担を軽減するため、在宅でムリになった場合は施設入所。
- 2 3 家族に出来るだけ負担をかけないため、程度に応じて対処をしたい。
- 2 4 家族対応には限界があるため、サービスの社会化は必要であると考え。そのための一定の経済的負担はやむを得ないと思う。
- 2 5 できる限り自分達で生活したいが、負担がかかりすぎるのは困る。

- 2 6 家族の負担を減らしたいが、自分の家で暮らしたい気持ちはあるため。また、専用施設に入ることが双方のためになる場合もあるので、選択肢としては考えておきたい。ただ、専用施設の様子がわからないので、一概には言えない。それなりの質が維持されていることを前提として、また、経済的に可能だとしての回答である。
- 2 7 自宅での介護がBEST。
- 2 8 必要なときにすぐに支援してもらえそうだから。
- 2 9 家族の負担軽減。家族が認知症なら可能な限り「在宅で家族による介護を中心に、介護保険制度のサービスをできるだけ利用しない」を選択したい。
- 3 0 家族と同居したいが、家族の介護の負担は少ないほうがいい。

「在宅でサービス利用するよりも、できるだけ施設入所したい (28.9%)」を

選んだ理由 ※()内は同一意見数

- 1 家族に負担をかけたくない。(5)
- 2 自分が家族の負担になるのは嫌だから。
- 3 出来るだけ家族に負担をかけたくないから。(経済的に可能かどうか不明)
- 4 家族に負担をかけさせたくないが、ただし経済的には不可能だ。
- 5 家族に迷惑をかけたくない。(3)
- 6 身内に迷惑をかけるぐらいなら、お金を払って介護を受けたほうがよい。
- 7 自宅介護だけでは、家族の負担が増えすぎて家族に迷惑がかかるから。
- 8 家族に迷惑をかけるというのが痛いほどわかるから。専門家の下で暮らしたい。
- 9 家族に迷惑をかけたくないし、専門の施設で生活したい。
- 1 0 家族の負担が大きいので、できるだけ施設に入所して専門的な介護を受けたい。
- 1 1 夫も高齢となるし、子どもたちは多分海外で生活することになると思うので。
- 1 2 何よりも家族の負担を考えると介護というのはとても大変なことと思うので、経済的に可能であれば施設で過ごすことが望ましいと考える。ただ、自分自身のことを考えるとやはり家族のそばにいたいというのが願いである。
- 1 3 家族に心労をかけたくない。
- 1 4 家族の精神的、肉体的苦痛をなくしたい。
- 1 5 家族に精神的な苦労を毎日感じながらいてほしくないから。
- 1 6 周りには迷惑をかけたくない。回復の見込みがないなら、ずっと施設にいたい。
- 1 7 介護する側が高齢のため、在宅での介護は無理。
- 1 8 祖父が入所しており、質のよいサービスを受けながら、日々を楽しく過ごしているようだ。

「在宅で介護保険制度のサービスを利用して、家族の介護負担を軽減したい

(19.6%)」を選んだ理由 ※()内は同一意見数

- 1 家族の負担を少なくしたい。(2)
- 2 家族には出来る限り負担をかけたくない。
- 3 在宅を基本とするが、家族にあまり負担をかけたくないから。
- 4 家族の介護負担を少しでも軽くしたいから。
- 5 自宅がやはりいいが、サービスは利用して家族の負担を軽くしたい。
- 6 負担をかけない程度に家にいられるのは幸せだから。
- 7 家族に迷惑かけたくないから。
- 8 家族に迷惑はかけたくないが、在宅が望ましいので。
- 9 家族に負担はかけたくないが、施設入所はしたくない。
- 10 子どもには負担をかけたくないの、サービスを利用して家で暮らしたい。
- 11 重症になるまでは、自宅で過ごしたいから。
- 12 出来るだけ家族によるが、出来なくなったら保険サービスを受ける。
- 13 認知症でも残された能力で、家族と残された人生を楽しみたい。
- 14 サービスを利用して、負担を軽減したい。
- 15 介護してもらえる家族は妻一人であるから。
- 16 家族以外の人とも関わっていききたい。

「在宅で介護保険制度のサービスを利用して、できれば施設入所しない(5.2%)」を

選んだ理由 ※()内は同一意見数

- 1 自宅にはいたい但家族の負担は極力減らしたいので。(2)
- 2 施設では適切な対応が取れないと思うので。施設を信頼していないので。

「在宅で家族による介護を中心にして、介護保険制度のサービスをできるだけ利用

しない(1.0%)」を選んだ理由

できるだけ生活環境は慣れたところがよい。

「その他(2.1%)」を選んだ理由 ※()内は同一意見数

- 1 家族に介護負担させたくない。(2)
- 2 幼児がいるため、実家にお世話になる。介護保険サービス利用。

問5-2 もしも、御家族が認知症になった場合、どこでどのような介護を受けるのがよいと思いますか。理由も含めてお答えください。

(○は1つだけ)

(n=97)

	構成比 (%)
在宅で介護保険制度のサービスを利用して、必要であれば施設入所させたい	50.5
在宅で介護保険制度のサービスを利用して、家族の介護負担を軽減したい	25.8
在宅で介護保険制度のサービスを利用して、できれば施設入所させない	10.3
在宅でサービス利用するよりも、できるだけ施設入所させたい	6.2
在宅で家族による介護を中心にして、介護保険制度のサービスを利用しない	5.2
その他	2.1

御家族が認知症になった場合、どこでどのような介護を受けるのがよいと思うかきいたところ、「在宅で介護保険制度のサービスを利用して、必要であれば施設入所させたい」が約5割（50.5%）で最も高く、「在宅で介護保険制度のサービスを利用して、家族の介護負担を軽減したい」が2割半ば（25.8%）と続いた。

「在宅で介護保険制度のサービスを利用して、必要であれば施設入所させたい (50.5%)」を選んだ理由

- 1 できるだけ家族で面倒をみたい。
- 2 本人のためには自宅の環境が最良と思うので、可能な限り自宅で介護したいが、介護する側にも限界があると思うので、出来なければ施設へ入所させる。
- 3 家でみるつもりではあるが、無理はよくないと思うから。
- 4 出来る限り在宅で関わりたいが、重い認知症では素人はムリだと思うから。
- 5 出来るだけ傍において介護をしてやりたいが、症状によっては適切な介護が出来ないから、症状に合わせて適切な対処をしたい。

- 6 できるだけ在宅で介護したいが、小さな子どももいるので、一人では育児と介護の両立はできないと思う。
- 7 自分が介護する場合は出来るだけ面倒をみたいと思う反面、精神的に全てを在宅でやるのは自信がない。
- 8 できるだけことはするが、自分達の生活が成り立たなくなるようであれば施設入所を考えたい。
- 9 問5-1と同じだが、なるべく在宅介護をしてあげたいけど家族の負担も考えると症状によっては入所もやむを得ないと思う。
- 10 在宅介護するが、とてもムリになった時は施設入所とする。
- 11 そばにいてあげたいが、治療や環境が本人のためになるのであれば施設の利用も考えたい。
- 12 問5-1と同じで、理想は家族の負担を減らしながらも在宅で介護することだと思うが、双方にとってそちらの方がよいなら、という条件で入所もありだと思える。家族の負担を減らしたいが、自分の家で暮らしたい気持ちはあるため。また、専用施設に入ることが双方のためになる場合もあるので、選択肢としては考えておきたい。ただ、専用施設の様子がわからないので、一概には言えない。それなりの質が維持されていることを前提として、また、経済的に可能だとしての回答である。
- 13 在宅で出来る自信が今のところないし、間違った介護をして悪化させてしまう怖さもあるので、出来るだけプロの方の支援を受けながら介護したい。そして、施設入所が望ましいのであればさせたいと思うが、後は経済的な負担の問題で決断をせざるを得ないと思える。
- 14 認知症の程度によっては、専門的な所でみてもらった方が本人にとってもよいのではと思ったので。
- 15 在宅での大変さを知っている。
- 16 認知症が進行すると、家族の身体的・精神的負担が耐えられなくなるのを実際、身内でみた。施設入所を検討するのもやむを得ないと思う。
- 17 自分の時と同じ思いである。
- 18 自分が当事者だったらそうしてほしいから。
- 19 介護する側が心身ともに健康でなければ、認知症になった人に対する憎しみさえ沸いてくるので、認知症になった人の社会適応が困難になった場合は距離を置くことが必要だと思う。
- 20 経済的側面と症状の面と総合的に判断し、家族の負担が強い場合は、家族のために入所をする。
- 21 優先順位が選択項目の「在宅で介護保険制度のサービスを利用して、必要であれば施設入所させたい」であるため。

- 2 2 自分で出来ることにも限界があるので。
- 2 3 自分の体力を合わせ考え、なるべく住み慣れた所で介護したい。
- 2 4 必要なときにすぐに支援してもらえそうだから。※問 5-1 と同じ
- 2 5 私（男 73 才）が妻（67 才）を介護することになるため。
- 2 6 夫婦だけの家族であり、負担が大きい。老老介護となる。
- 2 7 家族で介護が出来るうちはよいが、老老介護の場合には施設に入所せざるを得ない。
- 2 8 我が家は 3 人家族で子どもがまだ大学生だが、夫婦とも 60 歳を過ぎ、お互い老老介護になる。出来るだけ家族で介護をやり抜きたい意志はあるが、最後はやはり施設のお世話にならざるを得ないと思っている。
- 2 9 入所施設が家の真向かいにあるので、入所できるような気がする。
- 3 0 介護する側の負担が大きくなれば、共倒れの危険性もあるため。
- 3 1 公共のサービスに頼れるところはしっかりと頼った方が自分達の生活が共倒れしなくて済むから。
- 3 2 家族対応には限界があるため、サービスの社会化は必要であると考え。そのための一定の経済的負担はやむを得ないと思う。※問 5-1 と同じ
- 3 3 自分は家族をみたいと思っているが、時には心と体の休息も必要と思う。
- 3 4 家族での対応がかなり難しいと考えられるからである。
- 3 5 在宅が理想だが、家族の手に負えなくなる状況もあると思う。
- 3 6 極力在宅で対応したいため。
- 3 7 本人の希望を尊重したい。
- 3 8 本当は施設に入りたいが、それも経済的に難しいと思うため。

「在宅で介護保険制度のサービスを利用して、家族の介護負担を軽減したい（25.8%）」

を選んだ理由

- 1 自分の体力の続く限り、認知症の家族の尊厳を大切にしつつ共に残る人生を楽しみたい。
- 2 周りの家族の生活は確保しつつ、本人と少しでも長く一緒にいたい。
- 3 出来るだけ在宅介護してあげたいから。
- 4 長く優しく接したいので、少し休み、でも出来る限り家でみたい。
- 5 サービスも受けながら、自宅での介護がよい。
- 6 施設では不安なので、サービスを利用して在宅で介護したい。
- 7 ある程度は家族で介護できる状態でいたい。
- 8 自分がなった時と同じように対応したいから。

- 9 家族で対応できる範囲では対応したい。
- 10 家族だけの介護には限界があると思うので。
- 11 家族が介護の疲れで犠牲にならないため。
- 12 家族の負担で共倒れにならないため。
- 13 子育て中に介護を自宅でするのは大変。
- 14 家族に介護全てを依存できないため。※前問の選択理由と同じ。
- 15 家族を施設に入れることに罪悪感を覚えるが、全てを背負う自信はないから。
- 16 家族の温かさを感じてもらいたい一方、家族の負担を減らしたいため。
- 17 出来るだけ家族で介護をしていきたいが、介護が負担になってしまっは、家族も本人も辛いと思うので、家族介護がしやすいサービスを検討して欲しい。
- 18 施設だとさらに認知が進むと思う。
- 19 家族以外の人と関わってほしいと思うから。
- 20 問5-1と同じだが、出来るだけ家族も入所させたくない。
- 21 判らなくなってから施設に入れるのはかわいそうだから。

「在宅で介護保険制度のサービスを利用して、できれば施設入所させない（10.3%）」を

選んだ理由

- 1 出来る限り自分のそばで面倒をみたいから。
- 2 家族のことは出来る限り家で介護してあげたい。
- 3 家にいた方がみてあげられるので安心するから。
- 4 前問と逆で家族とは一緒にいたい。
- 5 家族と離れると症状が悪化すると思う。
- 6 自宅にいたほうが本人も幸せだと思うが、家族の負担をできるかぎり減らしたい。
- 7 本人でも家族でも、人的、金銭的負担を少なくしたい。
- 8 施設入所の実情に不安がある。
- 9 施設では適切な対応が取れないと思うので。施設を信頼していないので。

「在宅でサービス利用するよりも、できるだけ施設入所させたい（6.2%）」を選んだ

理由

- 1 できるだけみてやりたい気持ちはあるが、周りの家族へ負担をかけることになるから。
- 2 家族自身にもそれぞれの生活があり、それを乱したくないから。
- 3 介護をする側が高齢で無理。

「在宅で家族による介護を中心にして、介護保険制度のサービスをできるだけ利用しな

い (5.2%)」を選んだ理由

- 1 家族で面倒をみてあげたい。
- 2 自分の大切な家族のことだから。
- 3 出来る限り家族によるが、どうしても駄目な時は、保険制度のサービスを受けざるを得ないと思う。
- 4 共倒れにならない限り、これが道理と考える。
- 5 経済的に無理だから。

「その他 (2.1%)」を選んだ理由

- 1 認知症になる前に本人の希望を聞き、それに添ってサービスを利用したい。
- 2 家族全員が無理のない方法にしたい (ケースバイケース)。

問6 もしも、あなたや御家族が認知症になった時、できるだけ在宅で暮らしていくには、介護保険制度のサービス以外にどのようなサービスが必要だと思いますか。 (○は3つまで)

※介護保険制度では、デイサービス（日帰り通所介護）、ヘルパーサービス（訪問介護）、ショートステイ（短期の施設入所）、訪問入浴等が身体状況等に応じて利用できます。
(n=97)

	構成比(%)
介護する家族に介護技術・情報の提供	49.5
外出支援（送迎・付き添い）	42.3
定期的な安否確認（見守り）	37.1
いざと言う時の通報システム	36.1
徘徊しても居場所が特定できるシステム	27.8
介護する家族の意見交換の場	26.8
火の消し忘れ等を管理するシステム	23.7
定期的集まって楽しめる活動の場	18.6
話し相手の派遣	17.5
金銭管理	7.2
介護サービス以外不要	0.0
その他	2.1
無回答	1.0

(複数回答)

あなたや御家族が認知症になった時、できるだけ在宅で暮らしていくには、介護保険制度のサービス以外にどのようなサービスが必要だと思うかきいたところ、「介護する家族に介護技術・情報の提供」が5割弱（49.5%）で最も高く、「外出支援（送迎・付き添い）」が4割強（42.3%）と続いた。

【その他】

- 1 介護者（家族）の自由時間の確保。
- 2 介護する家族の介護休暇をとりやすい世の中にしてほしい。

問7 もしも、あなたや御家族が認知症になった時、できるだけ在宅で暮らしていくには、地域とのかかわりは必要だと思いますか。あなたの考えはどれに近いですか。

(○は1つだけ)

(n=97)

	構成比(%)
家族の介護だけでは限界があるので地域とのかかわりは必要だ	56.7
家族の介護が十分であっても、近隣に迷惑をかけることがあるので必要だ	23.7
災害等の緊急時のことを考えると必要だ	9.3
今まで地域と関わってきたので引き続き必要だ	3.1
地域の人に認知症であることを知られたくないので必要ない	2.1
家族や介護保険等のサービスだけで支えられるので必要ない	0.0
地域の人との関わりがわずらわしいので必要ない	0.0
その他	2.1
無回答	3.1

あなたや御家族が認知症になった時、できるだけ在宅で暮らしていくには、地域とのかかわりは必要だと思うかきいたところ、「家族の介護だけでは限界があるので地域とのかかわりは必要だ」が5割半ば(56.7%)で最も高かった。

一方、「家族や介護保険等のサービスだけで支えられるので必要ない」と「地域の人との関わりがわずらわしいので必要ない」は0.0%であった。

【その他】

- 1 必要であると思うが現実の場合、他人に伝えたくないという思いもあり難しい。
- 2 地域との関わりは必要だが、都会の場合、地域のほうで関わりたがらないのではないか。

問8 認知症の方やその家族を地域で支える場合、その中心になる組織はどこだと思いますか。 (〇はいくつでも)

(n=97)

	構成比(%)
地域包括支援センター	66.0
介護施設・介護事業者	54.6
市役所	42.3
医療機関	36.1
ボランティア	19.6
自治会・庁内会	18.6
民生委員	13.4
その他	2.1

(複数回答)

認知症の方やその家族を支える場合、中心になる組織はどこだと思いかきいたところ、「地域包括支援センター」が6割半ば(66.0%)で最も高く、「介護施設・介護事業者」が5割半ば(54.6%)、「市役所」が4割強(42.3%)と続いた。

【その他】

- 1 サポーターによる情報提供と行政との仲介。
- 2 選択項目にある「介護施設・介護事業者」、「市役所」、「地域包括支援センター」、「医療機関」、「民生委員」は多数のケースを抱えていて大変そう。
- 3 これらの選択項目及びその他専門科を横につなぐ組織を市や都の支援によりつかったもの。

問9 説明資料「認知症周知の取組み」にある、認知症サポーターを積極的に活用する
 としたら、今後、市としてどのような取組みをしたらよいと思いますか。

(〇はいくつでも)

(n=97)

	構成比(%)
サポーターを必要とする施設等の情報提供	68.0
サポーターのレベルアップを図る研修の実施	66.0
サポーターの活動費の支給	61.9
サポーター同士の交流や自主的な活動の報告ができる場の提供	58.8
サポーターが活動できる場(市の主催事業)の提供	57.7
サポーターの活動はできる範囲(強制しない・自由)なので何もしなくてもよい	1.0
その他	2.1

(複数回答)

認知症サポーターを積極的に利用するとしたら、今後、市としてどのような取組みをしたらよいと思うかきいたところ、「サポーターを必要とする施設等の情報提供」が7割弱(68.0%)、「サポーターのレベルアップを図る研修の実施」が6割半ば(66.0%)と僅差で続いた。

【その他】

- 1 認知症サポーターの存在の啓蒙。
- 2 家族に情報の提供、介護としてボランティアで利用しない。

問 10 現行の介護保険制度において、限られた予算の中で、認知症対策にかける予算とサービスの兼ね合いで、あなたの考え方に最も近いものはどれですか。

(○は1つだけ)

※介護保険は40歳以上が加入し、介護保険に係る費用のうち、50%は被保険者(40歳から65歳未満が30%、65歳以上が20%を負担)、残りの50%は国・都・市(税金)で賄います。サービスを利用する場合、利用料(原則、費用の1割)が必要です。

(n=97)

	構成比(%)
サービス充実の必要があり、介護保険外でサービスを実施して、介護保険料は変わらず、一般財源(税金)で費用負担する。	45.4
サービス充実の必要があり、できるだけ自分達で支え合う(地域での助け合いやボランティア等を活用する)ことで、できるだけ費用負担が増えないように工夫する	24.7
サービス充実の必要があり、介護保険内でサービスを実施して、介護保険料は変わらず、一般財源(税金)で費用負担が増えないように工夫する	12.4
サービスは現状のままでよい。介護保険料との費用負担は増えない。	8.2
サービス充実の必要あり、サービスの充実文は全額利用者の自己負担とする。	5.2
その他	3.1
無回答	1.0

現行の介護保険制度において、限られた予算の中で、認知症対策にかける予算とサービスの兼ね合いで、あなたの考え方に最も近いものはどれかきいたところ、「サービス充実の必要があり、介護保険外でサービスを実施して、介護保険料は変わらず、一般財源(税金)で費用負担する」が4割半ば(45.4%)と最も高かった。

【その他】

- 1 基本的に選択項目「サービス充実の必要があり、介護保険内でサービスを実施して、介護保険料の負担増で対応する」であるが、介護保険料の負担増ではなく、税金の無駄遣いをなくして捻出する。
- 2 介護保険に係る費用は全額国・都・市(税金)で賄う。サービスを利用する場合の利用料は現行のままでよい。

問 11 認知症の高齢者が住み慣れた地域で生活しやすくなるには介護保険や
問 6. 等のサービスを充実する以外にどのような対応策が必要だと思
いますか。 (300 字以内)

- 1 自民党から民主党に政権も変わり、民主党の政策に期待するところだが、税金の無駄遣いをなくして、介護にかける予算が多くなるのを願う。
- 2 認知症のことを、もっと詳しく広く色々な人知って理解してもらい、助け合えるような社会をつくっていったらと思う。やはり、一番は人とのつながりなので、そこをどうやって築けるのかが課題だと思う。
- 3 認知症サポーターという活動があるのを初めて知った。現実問題として、難しいと思うが、この機能がうまくいけば理想的だと思う。でも自分はこの活動はできない。
- 4 認知症は誰でもなりうるものである。それを社会がまず認め、認知症患者およびその家族を差別的眼で見ない社会をつくるのがまず大切である。家族に認知症の者がいるが、一人では歩きにくいので、安心して散策できる公園が必要である。動物が好きなケースが多いので、犬や猫とのスキンシップの場の提供も良いと思う。もちろん、人とのスキンシップの場が必要なのは言うまでもない。
- 5 認知症の高齢者の面倒をみる家族が、介護に疲れて共倒れになることがないよう情報提供や助けあいの場を身近なところに充実させていくことが必要と思う。また、家族に認知症の高齢者がいる世帯以外では、認知症についての一般的な知識はまだ浸透していないと思われるため、多くの人認知症について知り、高齢化社会について考える機会を与えていくべきと思う。
- 6 認知症の介護は、経験した人でなければ分からない程のストレスが溜まる。酷くなると自殺をすることもある。なので、介護をする人の悩みなどを聞く施設や制度があればよいと思う。
- 7 家族の手が不足になった場合、安く入所できる施設を多くつくってほしい。
- 8 誰でも歳をとるので、介護の問題は他人事ではなく、年金暮らしや、核家族になり、働き盛りの子どもたちに介護を任せるとも立ちいかなくなるので、財政面でのバックアップをお願いしたい。なるべく慣れ親しんだ場所で最期を迎えたいが、介護する家族の精神的ケアができるように、会合やセミナーを市主催で時々ひらいてほしい。
- 9 地域全体で支えあうシステムの充実が必要であり、ボランティア制度のPRと参加しやすいシステム構築が必要。「誰でも高年齢になれば起こりうる病気なので、早急に社会全体が支えあうことが大切」を小中学校教育にも取り入れてほしい。八王子市としてもっとボランティア制度を普及させるべきであり、力を注ぐべき課題。

- 1 0 認知症の介護を在宅で行うのはきわめて難しいので、今まで暮らしてきた自宅の延長線上のような地域密着型の小規模のグループホームの一層の充実を図るべきだと思う。
- 1 1 夜間や休日に家族の代わりにサービスを提供する仕組みが必要。
- 1 2 (1) 理想的には、衣食住は個人責任、医療と義務教育と保育・介護は全額無料が望ましいが。
(2) 財政破綻の国や介護者の負担増は、将来を危うくして若者の希望を失わせるので回避すべきであり。
(3) 幅広い意味でのボランティア（小額有償）で社会全体が要介護者との相互理解と共生を目指すのがよいと考える。
例：・子どもの協力支援
・学生も教育単位の一環として活動
・失業者の活用
・健康老人の活用
- 1 3 専門的に介護できる施設が必要。家族での介護は結局、家族全体を不幸に巻き込んでしまうことが経験済みだ。専門の設備が必要。
- 1 4 認知症に対する地域の対応が必要不可欠だと思う。家族以外の近隣のかかわりを市として見守ること。
- 1 5 認知症発見のための定期検診（任意、無償または定期補助）、認知症理解の啓発や認識を広めることにもなると思う。
- 1 6 認知症に限らず、高齢者の介護問題はこれからの大きな課題。家族だけでは解決できない問題を費用をかけずに行おうとするには、ボランティアを活用すること。また、立派な制度をつくってもそれがあることを知らず、一人で悩んでいる人も多いと思う。団塊の世代が退職し、ボランティアで社会に貢献したいと考えている人は多いと思う。そのような人たちを発掘し、活躍の場をつくり、その力を活用する方法を考えていく必要がある。今の介護制度だけでは、もうすぐ行き詰まってしまう。
- 1 7 現在、近所にどのような方が住んでいるのかわからない状態である。町会にも参加しない若いご夫婦の方々がいるが、まずは近所の付き合いが重要ではないだろうか。
- 1 8 認知症に関して、世間一般に理解を深めていただくよう努力する。
- 1 9 保健師、主任ケアマネージャー、社会福祉士等の専門職員等と町会・自治会と協働し、認知症の家族との相談会を頻繁に持ち、併せて認知症の高齢者が社会との絆となるような、活動の場・会をつくる。

- 2 0 先ず、私の家族がそうなった場合、介護出来る自信はない。その場合、精神的な支援（情報交換、助言等）及び物的支援（介護用器具等があれば借りたい、また金銭的支援）も求めることになりそう。ヘルパーさんとして新聞にも時々出ているが、日本では少子高齢化の中、海外からの介護士等も受け入れて、サポート体制を補強してもらえればと考える。次に自分自身がそうなった場合を考えると、現在病弱で障害を持つ妻のことを考えれば、やはり施設入所を考えざるを得ないと思う。
- 2 1 自分達には認知症は関係ないという人を減らすことが大事だと思う。特に若い世代のマンパワーは必要。そのためには介護職の賃金の改善など金銭面のフォローからはじめなくてはならない。助け合い、ボランティアでは限界がある。認知症サポーターも有償ボランティアのほうがよい（このアンケートモニターくらいの報酬でもよいので）。また、小・中学校のうちから認知症について学ぶ授業をしたり、高校生のボランティア単位の義務化など子どもへの教育から始めていくのも重要かと思う。
- 2 2 問6に入っているが、高齢者が集まって話し合いや、近隣の認知症を抱える住民同士が容易に集まれる施設・集会所などが必要。天気のよい日は公園、雨の日は市民センターや集会所近くに設備されるのが望ましいと思う。
- 2 3 認知症本人や、その家族に精神的な安らぎを与えられるサービスの向上で一人一人が楽しい人生の最終章を送っていけるようなサービスの提供。
- 2 4 認知症の本人や家族が他人に知られたくないという家族もいらっしゃるの、個人ではなかなか立ち入れないと思うが、なかにはちょっと手助けしてほしいという方もいらっしゃると思う。地域やご近所の方達の日常の生活のなかで、負担にならない程度のほんの少しの手助け（例えば、買い物や話し相手、知恵や情報などの提供等）が、町内会や回覧などで気軽に求め気軽に応えることが出来るような地域やご近所さんの思いやりのまちづくりのシステムをつくることなどもよいのではないか。
- 2 5 一人暮らしの場合、外に出なければ一日人と顔を合わせる機会がないと思う。ボランティアなり町会の人なりが訪問することによって、安否や様子は伺えると思う。認知の度合いにもよるが、年寄り（いつかは必ず自分にもそう遠くないうちにやってくる）になってどうしたらよいか、少しずつでよいから考えるのも悪くはない。しかし、現実にはそういかない。矛盾になってしまうがひとりぼっちになったら、集団生活を望むかも知れない。一番の不安は年金で暮らしていけるだろうか。認知症もさることながら、その前に年金での生活が成り立つのか。今の老人は生活に不自由はないのか。対応策とは話が遠くなってしまったが、一番の対応策は今現在の高齢者とその家族が教えてくれるかもしれない。

- 2 6 毎日のあいさつから始まり、迷惑にならない程度のご近所の方の声かけが、高齢者の方は安心するのではないかと思う。認知症の方の身近にいる方に対する声かけは、たいへん必要なことだと思う。今、私のご近所にも認知症のご主人を70歳すぎた奥様が介護されているが、「話を迷惑にならない程度に聞く」ということは、安心につながると思う。
- 2 7 認知症の方専門の施設で、しっかり研修を受けた者が、生活の元をつくってあげてほしい。子育て中の者が、親たちの介護までは負担が大きすぎる。高齢者より、これからを背負う子どもたちのことをもっともっと考えてほしい。
- 2 8 若者達と共生できるよう、若者達への認知症の教育と福祉活動への参加機会を設けること。また、行政がある程度それを支援することが必要と思う。更には、認知症の人々をねらった犯罪が発生しないよう、自治体・警察が一体となった整備システムを確立すること。
- 2 9 やはり地域や町会の手助けは大切なことだと思う。日頃、顔見知りの方でしたら認知症の方も信頼してくださると思うので、なるべく話し相手や見守り等協力することは住民として大切なことだと思う。しかし、町会に加入していないアパート暮らしの方などは普段お付き合いがない人が多いので、こういった方が地域で暮らすのは今後の課題である。
- 3 0 介護は本当に家族の負担が大きく、またヘルパーさんの時間制限などにより今のままでは充実しているとはいえないと思う。ただ、今の保険料をあげて、となると若い世代には生活が苦しく、今の自分たちの生活で精一杯で自分の子どものことも満足にしてやれないというのだと問題である。介護に関わる若い世代を育てる学校や施設の充実がされるとよいと思う。
- 3 1 まだ、周辺にもお陰さまでそのような状況を目にしたことがないのでよく分からないのが現状である。ただ、行政だけに頼ることなく地域で助け合いできないか検討すべきと思う。先日、当団地で住民統計をとったら驚くなかれ、55歳以上が約50%で、60歳以上でも約35%であった。
- 3 2 認知症の高齢者が地域で安心して暮らしていくには、介護支援専門員をはじめとする地域の関係者が、共通認識を持って連携のとれたケアをしていくことが大切である。例えば、ひとり暮らし高齢者等安心ネットワークづくり等により、認知症サポーターなど、市民との連携による認知症高齢者発見の仕組みを検討していくことが必要だと思う。また、「認知症サポーター」が認知症高齢者の簡単な相談を受けられるよう支援をしたり、介護者サロン等の施設をつくり、活動できるように働きかけていく必要があると思う。
- 3 3 在宅介護する家族の人達の健康管理、精神的負担を軽くする何らかの方法を考えたい。

- 3 4 私の住む町内では定期的（月 1 回位）に町内会議を利用して、老人を含めた広い層対象のイベントが開催されている。前は“歌を唄い、心をいやす”の題で和気あいあい、なかなかの盛況であったようである（妻が参加）。会費は 200 円（お茶とお菓子）と負担も軽く、身近な肩の凝らない内容が中心である。八王子在住の方で趣味等で楽器演奏、歌唱等の特技を持っている方も多数いると思う。発表の場を得て、社会貢献が出来ることを主旨として、ボランティア（交通費のみ支給）で活動できる人、グループを組織的に広く公募、ホームページを通して介護センター等に広く紹介するシステムが出来ればよいと思う。
- 3 5 正直、現実には直面していない問題であり、また、今まで考えたことのない問題なので、問 6 に掲げられているサービス以外に思いつくものがない。ただ、介護する人の負担が少しでも減らせるように、どこに相談できるかくらいは、もうちょっとアピールがあってもいいのではないかなと思う。
- 3 6 一人暮らしの方が増える一方なので、地域の方々がお互いに協力し合って、できれば家族のように付き合えるようになるため、日頃から触れ合う場と機会をつくる必要があると思う。
- 3 7 保育園の子どもたちとの交流の場や犬や猫とのふれあいの場をもっている施設もあるようだ。とにかくいきいきと生きていけるようにフォローしてあげることが大切だと思う。介護する側に余裕がないと、よりよいサービスが提供できないと思うので、待遇をアップさせたり、勤務体制に余裕をもたせたりもする方がよいと思う。認知症がすすまないように、リハビリ的なこともプラスしていけるとよいと思う。
- 3 8 認知症の方が生活をしていく為には、介護をする家族の精神的ケアも必要だと思う。実際に介護を苦に悲劇が起きることもある。そういうことを減らす為にも、介護をする家族が笑顔でいられれば、介護される側も生活しやすくなると思う。介護は本当に大変なことなのだから。
- 3 9 医療施設の充実が必要ではないかなと思う。特に訪問医療などの充実が望ましい。
- 4 0 「支える人（介護者）を支える仕組み」が必要だと思う。「がんばれ」とか「大変ね」という言葉では片づけられない現場（介護から逃げられない）を思うと、支える人が少しでも息抜きできたら、心の思いを吐き出したり、自由になれる時間が必要。でないと、共倒れになってしまう可能性も……。とてもいいテーマについてアンケートをしてくれたと思う。今後期待する。
- 4 1 認知症に関し、他人事ではなく自分自身に関わることとしての理解を高め、自然発生的に地域の協力が得られるような体制を目指すために啓蒙活動を更に高める。

- 4 2 自分自身、認知症に何時なるかわからない 60 代である。認知症の大変さはテレビや講演で見たり聞いたりして、よく知っているつもりだが、いざ、自分や身内で認知症になってしまったら、家族はどんなに大変かわかっているつもりである。介護のために介護をしている人が疲れ病気になり、自殺をしてしまうニュースを見ると他人事ではないと思う。家族がその場に立ってみるとどのように対処したらいいか、困ってしまうと思う。そんな時、やはり行政に相談すると思うが、何でも行政に頼むのではなく、町会、ボランティアにどう対処したらいいか、相談にのってもらえる仕組みを考えてほしいと思う。
- 4 3 プライバシーが守られて、なった人の得意分野が何かを発見して、その方向にその人の得意とする分野、技術を伸ばせるような施設があればいいと思う。自分が得意とする分野は認知症にならないらしいから。
- 4 4 身近に認知症者がいなく、義父母も病院やホームにいたので、なかなか体験することができなかった。早期発見や早期治療が重要とのことだから、市報などで度々、声かけをしてみてもいいか。「あれっ？認知症かな?!」と思ったら、気軽に相談したり、通院したらどうだろうと。「認知症サポーター要請講座」があるのも知らなかったから、もっともっとアピールしてほしい。
- 4 5 介護する家族は 24 時間目が離せず、休まる時間がない。体調不良や急な葬祭あるいは趣味も続けたいなど介護する方に余裕がほしい。小学校単位でかけこみ託老所?のような施設があると家族で安心して介護できると思う。また、介護に関しての情報交換の場もほしい。される側、する側といっしょに集える場所もあればよい。孤立しやすい家族にとっていろいろな認知症のケースがわかる。とにかく、介護に疲れが出てきたら最終的にすぐ入所できる施設を望む。高齢者の虐待や自殺は人生の最後にしてはあまりにも悲しい。
- 4 6 アルツハイマーと脳血管性が割合の多くを占める認知症で介護保険があり、また意外に何が必要かと考えるとサポート活動が必要である。今は必要なくても年齢に応じて認知症になる。ならなくても老衰で入院である。すぐに入院できる病院である。認知症では入院できないのである。
- 4 7 認知症に対する認識や理解を深めるための P R。
- 4 8 認知症の高齢者を家族のみで介護するのは本当に大変だと思う。認知症の方も周囲の人が穏やかに受け入れて接すると症状が和らいでくるとも聞く。デイケアセンターや福祉センターを拠点に、地域の人達との日常的な交流ができるようなことが必要なのではないか。プロの人達やサポーターの人達の話や認知症の人への接し方を見習う場が身近にあったらよいと思う。

- 4 9 (1) 町内会での役員の役割（班長など）を負わせない。
(2) 障害認定は医師がするのと同じで介護認定も医師がする。
(3) 介護予算を少しでも多くする。そのために、無駄遣いを洗い出す。市民の声も聞く。例えば、私が無駄だと感じるものはこれである。
- ①「省エネチャレンジ 2009 のお礼の“ステッカー”」
エコ意識が高い人が応募するので、お礼など期待するわけもないし、第一使い道がない。小さい子どもが遊んで終わりである。
- ②「誰でもトイレ」の便座の電源
市の施設の「誰でもトイレ」の電源がついているのを見るたび、電気代の無駄だな〜と、思ってしまう。特に夏場は！必要性がどこにあるというのか。冷たい便座だからと、倒れるような人なら外出も中々しないのでは。
- 5 0 実際にどれ位の方が地域にいらっしゃるかも知らないが、介護は家族の方が中心になっていると思うので、本人をはじめご家族の方の支えになれるよう地域（近隣近所）の支えは必要不可欠ではと思う。
ただ、具体的にはどのようなサポートがよいのかはわかりかねるのだが・・・。
- 5 1 商店街等利用する拠点での理解を深めて、行き易くするのがよいと考える。そのためにも地域の商店街に活力があり、商売以外のサービスにまで気が回るようにするとよいと思う。また、ボランティアや民生委員の方に対する支援を行い、支援をする気のある人のモチベーションを高めつづける必要があると思う。
- 5 2 近所のおばあちゃんが倒れているのを見かけて助け、家の裏口から部屋まで連れて行ったり、家の前で起き上がることができなくなっており、町内の人と2人で起こしてあげた経験がある。息子さん夫婦（60代前半）が2人で働いていたので善意のつもりだったが、息子さんに教えたとき、はっきり「いやな顔」をされた。その時、「ボランティア」の気持ちと近所の誼で毎日気にしていたことが「あだ」となり、あまり深入りしないことが無難だと思った。その後、見かけなくなりお孫さんに会ったとき尋ねたら施設に入ったとの話である。認知症があったと後日家族に近い人から聞いた。高尾梅郷移設の動きがあるが、税負担が無駄にならないように在宅介護の崩壊の支援に使用して。
- 5 3 認知症に対するイメージを変えるべきだと思う。認知症はボケてしまって他人に多大な迷惑をかける。決して治らないというイメージを持っている人がほとんどだと思うので、24時間ずっとこういう状態とは限らないことやどのように対応していくべきなのかなど正しく認知症を市民に理解させ、未知の病というイメージを変えて、患者さんもカミングアウトしやすくするべき。そうすることで皆も手を差し伸べやすくなるし、介護している家族も助けを求めやすくなるはず。講演会をひらいたり、市報で特集を組んだりしたらどうだろうか。

- 5 4 急激に増えている認知症は誰もが避けて通れない重大関心事であろう。同時に多岐にわたる症状の解決策はないと思うので、まずは各人が認知症にならぬよう、また遅らせるよう、今言われている対応策は行う努力をすることが肝要と思う。また、不幸にしてそのような境遇になったときは公的機関に全てをお願いすることは物理的に不可能であろうから、そのことを平素から考えて家族の理解と近隣周囲の協力も得られるような関係づくりもしておくこと、なお不足の部分を公的機関をお願いするしか方法がないのではないだろうか。
- 5 5 外出時の安全の一つとして、交通安全対策を計ることが急務だと思う。例えば、車に人認知システムをつけるとか、道路自体を改善工事したり、ミラーを多く立てたり、小さい子を守るためにも一石二鳥の（昔いた緑のおばさんのような）交通指導員を無断駐車排斥ばかりに使わず、市のいたる所に人間配置したらどうか。駅の周りにはいるシルバー人材、彼らの利用は、認知症の人にとってもよいことだと思うが。隣近所の方は、仕事ではないので、あてにはできない。意識を変えろといっても、無理である。認知症なら家から出さなければいいという意見もあるだろうが、そうもいかないので、外出時に見守るシステムが充実していたらよいと思う。
- 5 6 私は、認知症サポーターという方々がいるということを知らなかった。また、オレンジリングを持っている人を見かけたことがない。市でサポーター養成講座を開催するのであれば、サポート活動の場を広げられるよう、活躍できる場の提供を行なうべきだと思う。これからは高齢者が増加するので、成人だけでなく、子どもにも理解できるように学校や幼稚園などでも講座を開いてみてはどうか。せつかく、サポーターを養成しても、個々ではなかなか活動できないと思うので、市が積極的にサポーターを活用すべきだと思う。
- 5 7 近所の方や知り合いの方の協力、サポートが必要だと思う。介護サービスは、ある程度の利用しやすさはあっても、かゆい所に手が届くのだろうかと思ってしまう。家族だけでの介護は大変でも、ほんの少し、今まで関わってきた近所の人、知り合い（友人）等、その人のことを知った人が、手を差し伸べてくれるのがいいと思う。認知症になった時、近所の誰が、友人の誰が、自分の支えになってくれるか示したカードでも持てればいいのに。
- 5 8 認知症の度合いにもよると思うが、あの人は“認知症”という目で見ることなく、一人の人間として、事実とは違う話でも、笑顔で聞いてあげたり、普通に明るい気持ちで接していき、出会ったときなどは、必ず一言でもいいので語りかけ、コミュニケーションをとりながらの1対1の対話ができるように努め、思いやりをもって接していくことが必要だと思う。

- 5 9 認知症の人には徘徊や妄想による言動等があるため、近所の人々の見守りが必要と思う。私の身内でも認知症を患っていた者がおり、家族がどんなに気をつけていてもいつの間にかひとりで外出し、帰れなくなり、パトカーに乗せられて帰宅したことがある。家族の介護だけでは限界があるので、認知症の人が近所に住んでいるということは地域全体で認識していたほうがよいように思う。加えて、周囲の人々が認知症に対する理解を深めることで、認知症の高齢者の生活が尊重されていくと思う。
- 6 0 高齢化が進むにつれて、高齢者相互の理解のもとに若い人達に出来るだけ頼ることなく見守っていかねばならないと思う。出来る限り元気な年寄りが少しでも関れる状況が必要。例えば、週に1回でもいいから地域の公民館に集まって食事づくりを手伝い、宅配してあげるとか。民生委員のサポートをする人員もある程度講習をうけて一人でも多く、訪問等にも参加出来るとか。
- 6 1 認知症に詳しい医者をもっといてほしい。特に女性が必要。特に早期に治療したい。
- 6 2 啓蒙活動の一環として小中学校の教育に組み込む。
- 6 3 老人福祉法の基本理念である高齢者に対する恩義と心安らかな余生への支援は、現状の福祉政策で不足していることは自明の理である。従って、今般の政権交代による民主党の政策実行力にもよるが、地方自治体へのより手厚い税金分配でより充実した高齢者福祉活動を可能にする方策をこの際、構築するべきではないか。官僚に頼るのでもなく政党に頼るのでもなく地域社会が立ち上げるべき時だ。まさに国民一人一人が暮らしている地方自治体が主導権を握り高齢者対策を確立するのがベストと判断する。無論、地方自治体の政策格差を是正する基本法を定めることと最近露見した千葉県に於ける公費のごまかしなどは、絶対に排除する第三者機関の設置も当然と思う。
- 6 4 認知症の家族の介護に悩み、疲れ果て、最悪の場合、心中を図ったりする事例を新聞等で見ると胸が痛む。特に井戸端会議で互いに愚痴をこぼせる関わりを持ちにくい男性の方が、一身に介護の重責を背負いがちのような印象を受ける。更に介護者自身、病気を患っている場合の負担感は想像にあまりあるだろう。そこで、介護保険が利用できる年齢になった全ての人に、市から「介護全般の悩みはここで出来る」というような案内があると、自分も見守られているという安心感が生まれると思う。また、認知症は決して恥じたり隠したりする物ではなく、誰にでも起こり得ることや、介護者になった時の為の技術や情報をもっとアピールしてもらえると安心である。
- 6 5 もう少し、定期的な医療を受ける機会を増やし、高齢者が安心して暮らせるまちづくりをつくるべきだと思う。

- 6 6 近年では老老介護が増えてきていると思われる。経済的にも体力的にも精神的にもかなり厳しいと思われる。介護する側の生活、精神面でのケアも重要だと考える。
- 6 7 近所、地域の協力が必要であると思う。認知症のレベルにもよるが、例えば徘徊するようなレベルである場合、地域の住民がその事実を周知し、徘徊している姿を見かけた場合、警察に連絡する等・・・地域住民、公共職員が協力し合った体制をつくることが不可欠であると思う。
- 6 8 家族が認知症の家族を介護し、共に生活をできるように、市民の認知症に対する理解及び認識を広めていくことも重要かと考える。
- 6 9 対症療法的な行政施策の充実、家族・家族の自己責任、地域の連携等による対応は当然だが、認知症の発症未然防止のための調査研究の推進による対象者の抑制が図れば理想的ではと考えている。そのために、東京都や国に対する要望活動の強化も施策の一つとして必要だと思う。夢のような話とは思いますが、この分野で日本からノーベル賞受賞者が出ることを期待しているところである。
- 7 0 設備や施設を提供するのはもちろん、認知症に対する知識や接し方を一般の人に知ってもらうため、地域住民の方々と協力しながら話題を取り上げてもらう必要があると思う。
- 7 1 みんなが正しい認知症の知識を知ることが必要だと思う。正しい知識がないと、相手が何を望んでいるのか自分は何をしたらいいのかわからないので。「自分には関係ないや」と思わずに、自分にもいつか関係するかもしれないという意識づけが必要だと思う。
- 7 2 認知症の高齢者が生活しやすい状態とは、介護する方がどれだけ地域の中で生活（介護）しやすいかと感じるかというように考える。それと、正直“認知症”について自分の身において考えることはとても重くつらいことであり、今、具体的な対応策といってもとても難しい質問である。自分と同じ年代の人にも同じように思う方は少なくないと思う。その中で思うことは、介護する人が何かの相談をする時にどこに相談したらよいのかをわかりやすくし、その時に対応する人がスムーズに回答できるようにすること。地域の中にデイサービスのように少しでも（可能なら）外出して人と触れ合える場を設ける。これ程大切な問題ですが、そうならないと分らないことが残念である。
- 7 3 認知症への理解や高齢者の状況を近隣住民も広く知り、皆で支えあうシステムがあればと思う。子育ても高齢者も一緒にいる環境があればよいのでは。
- 7 4 高齢になるほど、家族にとっても移動手段が一番の問題ではないかと思う。核家族化で高齢者のみの家庭もあると思うので、医療機関の多大な協力が必要になるが、訪問医療が充実されることが期待される。昔のようにはいかないだろうが、往診可能な医院・医師が増してほしい。医院と大病院のネットワーク化など。

- 7 5 認知症の高齢者にとって、日々起きる問題はそれ自体が正に日々の生活そのものであり、これは健康な人でも、少しだけ自己対応力が勝っているだけのことであり、なんら変わりはない。実は、ここに問題の解決の糸口があるように思われる。プライベートを含む日々起こる小さな出来事を、特別な問題とせず、普通のこととして汲み上げることが必要である。これは安全管理でいう「1件の事故の影に30件の、ヒヤッとしたりハッとした事実が存在する。これを普段から明らかにする環境づくりが事故災害を未然に防ぐという、(ヒヤリ、ハットの法則)に通じるものがある。認知症サポーターを中心とした自由に気軽に物言える集まりの場の構築の支援が望まれる。
- 7 6 軽度の認知症の場合、外出支援は特に必要だと思う。また、色々な人との交流できる場所があるとよいと思う。介護する家族の中には、限界があり、思い悩むケースもあるので、行政で相談窓口を広げてほしい。カウンセリングも含めて、24時間体制であってほしい。また、認知症までいかななくても、今後、なる可能性のある一人暮らしの高齢者が、いざという時に連絡できる行政窓口はあってほしいと思う。
- 7 7 認知症についての周囲の理解。いずれは自分もなる可能性があるということ。
- 7 8 若い頃は町会や地域との結びつきをあまり理解してないことがあった。地元で生まれたこともあって、消防団という組織に意識もなく入って活動していたが、その活動自体が地域に貢献していることは頭でわかっているにもかかわらず、その活動自体が地域に貢献していることは頭でわかっているにもかかわらず、地域での重要さを知ることなかったのだが、やはり、人の手を借りる暮らしになってくことで地域の手と手を結ぶ人の輪が大切である。
- 7 9 金銭的負担の軽減。
- 8 0 講演会等を開催して、もっと地域の方々に介護を身近に感じるようにしていった方がいいと思う。現状では、私も含め、介護に関する知識が乏しい人の方が多い筈。知識がないまま、急に家族が認知症になったときにどうしたらいいかわからなくなってしまう。一人ひとりの介護に対する意識の改正が必要。介護にしっかりと意識を持つようになれば、周りに認知症になってしまった方がいたら助け合えると思う。まずは、一人ひとりに知識を植え込む場を設けてほしい。
- 8 1 認知症周辺の当事者だけでなく、若い人や子どもたちにも、積極的に啓蒙を行い理解を深め、広げて、社会全体で支援をする意識を高める。単にリーフレットを配布するなどというよりも、地域のイベントや公教育の中で、劇やゲーム、体験談の講話などを提供し自然に身近な知識とする。認知症だけでなく障がいや一人親家庭など、色々なテーマを知り学ぶ機会と意識を一般の人の日常にとけ込ませることだと思う。

- 8 2 (1) 介護する家族が何日か旅行をして日頃のストレスを発散できるようにする為の宿泊施設をつくる。
- (2) 介護の為に、若くして会社を辞めなくてはならなくなった人に、生活支援が必要。これは、収入がなくなることにより生活苦と看護苦の二重苦となる為。
- (3) 苦情相談を電話で受けつけ出来る、電話相談センターを設ける必要あり。
- (4) 緊急時連絡先リストを作成して、万が一の連絡が出来るようにしておく。(病院、消防、警察、市役所、家族、親戚等)
- (5) 今の介護保険制度は、不備であり、抜本的な見直しが必要。今の制度では、適用金額が少なく、介護者の持ち出しが多く増大して、生活苦に繋がっている。
- 8 3 現在は介護疲れによる無理心中や自殺が増える世の中なので、まずは本人だけで抱え込まないような環境づくりが必要と考える。そのため、意見交換の場の拡充や地域のサポートの充実が求められると思う。
- 8 4 自分の周りに認知症の人がいないので実感がわからないが、認知症本人より周りの介護する人たちのケアが必要だと思う。一人暮らしの認知症の方にはまた違うケアが必要だろうし、ひとくくりにはできないいろいろなパターンによって必要なサービスが必要なのだと思った。
- 8 5 高齢者社会である以上、これからも認知症の高齢者は増えていくことと思う。たとえ介護保険が充実していたとしても、サービスの質が落ちてしまっただけでは意味がない。なので、認知症の高齢者を面倒みることのできるスタッフの育成がなにより大切だと感じる。また、スタッフに労力に見合った賃金を支払える体制が必要と感じる。
- 8 6 先日、認知症サポーター養成講座を受講してオレンジリングをもらった。せっかく受講したのに、その後役に立っていないような気がする。サポーターとしての行動のヒントなどあるとよいと思う。いざ家族が認知症になってからでは講座など受講することはムリだと思う。町会などで、皆が受講して地域の人が困った時やひとり暮らしの方のために役立てればよいと思う。
- 8 7 住み慣れた地域で生活していくというのは、在宅介護を続けるということで理解する。認知症になる前から、地域との交流があるのなら発症後も近隣同士の声かけ等で見守りを続けていけると思う。問題に思うのは、介護保険制度はあっても、実際にその家族に必要な介護サービスを全て網羅して提供してもらえるのかどうかと思う。老老介護といわれる時代だけれど、仕事もリタイアした後での経済状況で介護を続けていけるのか。もしくは、仕事を辞めざるを得ない状況になった場合、介護者の生活の保障はあるのか等、気になることはたくさんある。また、現役で働いている介護者が終わりの見えない介護で介護休暇を取得できる職場の協力も必要だと思う。

- 8 8 「認知症」というものについて、広く一般に理解を深めることが出来る活動。
- 8 9 まわりにまだ認知症の方が幸いにもいないので考えたことはなかったが、テレビ等でみて思うことは、自分ひとりでの介護は大変に厳しいし、人生を考え直して取り組まないといけない大きな問題だと思う。家族の愛情で包み込むことにより病気はよくなるとのこと。介護する側のケアが一番大切だと思う。介護する人に安心といやしの空間を多くあたえていけるような援助のシステムを確立し、患者に愛情深く接することができたらベストと思う。仕事をしていても週休2日あるように、せめて一週間に一度でも介護者に有給があるシステム、ショートステイの充実をお願いしたいと考える。
- 9 0 今後認知症を含め、介護を必要とする人口が増加していく一方で、介護従事者（ホームヘルパーなど）の不足が懸念される。市は介護サービス向上の一環として、ヘルパーの育成や待遇改善を積極的に行っていく必要がある。同時に潜在看護師の復職がスムーズにできるようにし、介護方面にも医療従事者のパートやボランティアを積極的に雇用していくことが望まれる。
- 9 1 まだ身近にそのような方がいないため、具体的にどのような対応が必要なのか、よく分からないが、ボランティアさんを増やしたり、地域の交流をもっと活発にすることが大切なのではないかと感じる。また一方で、私のように認知症の理解が不十分な方も多いと思われるので、その理解を広めるための広報活動もさまざまなイベント、お祭りの中で、PRしていく必要があるのではと感じる。
- 9 2 高齢者の生活に必要な用具の貸し出し・安価での提供・・・ベッド・車いす・杖・服や靴・おむつ徘徊者をすぐ見つけるための、地域住民の協力やGPS機能の身に着けるものなどあればよいかと思う。

テーマ2 八王子の観光について

産業振興部観光課

市では積極的に観光資源を開発し、より多くの来訪者を迎え入れることをめざし、平成15年から「八王子まるごと観光」を基本方針とした、観光産業の振興に取り組んでいます。そこで、市政モニターの皆さんに、八王子の観光についての認識や期待などについて回答していただき、今後の観光施策に活用してまいります。

問1 あなたは、八王子市の観光に関心はありますか。 (○は1つだけ)

(n=97)

	構成比(%)
とても関心がある	55.7
少し関心がある	33.0
あまり関心がない	9.3
まったく関心がない	2.1

八王子市の観光に関心はあるかきいたところ、「とても関心がある」が5割半ば(55.7%)で最も高く、「少し関心がある」(33.0%)とあわせた「関心がある」は約9割(88.7%)であった。

問 2-1 あなたは、次のどの観光地を訪れたことがありますか。

(○はいくつでも)

(n=97)

	構成比(%)
高尾山	95.9
道の駅八王子滝山	67.0
夕やけ小やけふれあいの里のある恩方地域	61.9
陣馬山	48.5
美術館（夢美術館、村内美術館、東京富士美術館）	48.5
片倉城跡	46.4
武蔵陵墓地	45.4
八王子城跡	44.3
アウトレット店のある南大沢駅周辺	43.3
サイエンスドーム（こども科学館）	41.2
絹の道・絹の道資料館	40.2
多摩森林科学園	37.1
小仏城山	33.0
滝山城跡	29.9
景信山	27.8
高尾梅郷	16.5
今熊山	14.4
その他	10.3
無回答	1.0

(複数回答)

行ったことがある観光地を選んでもらったところ、「高尾山」が9割半ば（95.9%）で最も高く、「道の駅八王子滝山」が7割弱（67.0%）、「夕やけ小やけふれあいの里のある恩方地域」が6割強（61.9%）と続いた。

【その他】

- 1 富士見台公園等公園や浅川等の川
- 2 裏高尾、大谷弁天
- 3 甲州街道のいちょう並木
- 4 桜の季節のサイクリングロード（多摩御陵付近）
- 5 小宮公園
- 6 長沼自然公園
- 7 長池公園

問2-2 あなたは、次のどの観光イベント（宗教行事は除く）に参加または訪れたことがありますか。（○はいくつでも）

(n=97)

	構成比(%)
八王子まつり	74.2
八王子いちょうまつり	68.0
八王子花火大会	64.9
あさがお市、街道市、大陶器市など八王子駅前西放射線ユーロードのイベント	38.1
高尾山もみじまつり	27.8
高尾梅郷梅まつり	24.7
高尾山若葉まつり	16.5
車人形の公園	8.2
その他	13.4
無回答	2.1

(複数回答)

選択項目にある観光イベント（宗教行事は除く）に参加または訪れたことがあるかきいたところ、「八王子まつり」が7割半ば（74.2%）と最も高かった。

【その他】 ※()内は、同一意見数

- 1 イベントとしては、遠方の人に来て、自慢するほどのものとは思えないから。
- 2 フェアヒルズ祭り、長池ポンポコ祭り
- 3 諏訪神社祭と諏訪団地納涼祭
- 4 南大沢住民としてはいずれも遠いので気軽に参加出来ない。むしろ、隣の多摩センター祭りに足が行く。上記祭りに参加するには交通費が無視できない。
- 5 しょうがまつり
- 6 参加したことがない。
- 7 なし(5)

問3 あなたが、遠方の友人・知人に案内をしたいと思う観光地及び観光イベントを、問2-1及び問2-2の中からその番号を3つまで選んでください。

問2-1 観光地

(n=97)

	構成比(%)
高尾山	84.5
武蔵陵墓地	28.9
アウトレット店のある南大沢駅周辺	20.6
陣馬山	19.6
夕やけ小やけふれあいの里のある恩方地域	17.5
多摩森林科学園	15.5
道の駅八王子滝山	14.4
八王子城跡	7.2
片倉城跡	6.2
美術館（夢美術館、村内美術館、東京富士美術館）	6.2
景信山	5.2
サイエンスドーム（こども科学館）	5.2
小仏城山	4.1
絹の道・絹の道資料館	4.1
高尾梅郷	4.1
今熊山	2.1
滝山城跡	0.0
その他	0.0
なし	4.1
無回答	2.1

(複数回答)

遠方の友人・知人に案内したい観光地を問2-1の選択項目からきいたところ、「高尾山」が8割半ば（84.5%）と最も高かった。

2-1 観光地 特になし【理由】

- 1 上記の観光地は「わざわざ遠方の友人・知人を呼べるほどの観光地」と云えるかどうか疑問である。
- 2 これといって八王子だからこれ！と思わない。
- 3 特に呼んで案内するほどのものではない。
- 4 これといって魅力ない。

問 2-2 観光イベント

(n=97)

	構成比 (%)
八王子まつり	54.6
八王子いちょうまつり	49.5
八王子花火大会	35.1
高尾山もみじまつり	24.7
高尾梅郷梅まつり	16.5
高尾山若葉まつり	12.4
あさがお市、街道市、大陶器市など八王子駅前西放射線ユーロードのイベント	8.2
車人形の公演	4.1
その他	0.0
なし	12.4
無回答	2.1

(複数回答)

遠方の友人・知人に案内した観光イベントを問 2-2 からきいたところ、「八王子まつり」が5割半ば（54.6%）で最も高く、「八王子いちょうまつり」が5割弱ば（49.5%）と続いた。

特になし【理由】

- 1 特に呼んで案内するほどのものではない。
- 2 おのれに興味なし
- 3 これといって魅力ない。
- 4 人出の多いイベントより、自分なりの観光をしたい。
- 5 自分が行ったことがないからわからない。(5)
- 6 これといって八王子だからこれ！と思わない。※前問と同じ

問4 あなたが、市外の方に発信したいと思う八王子市の観光の特長には、どのようなものがありますか。 (○は3つまで)

(n=97)

	構成比(%)
自然が豊か	95.9
都心から近い	44.3
名所・旧跡がある	32.0
景色が良い	30.9
祭りが盛大・にぎやか	20.6
学園都市	13.4
ショッピング	3.1
グルメ	1.0
その他	2.1

(複数回答)

市外の方に発信したいと思う八王子市の観光の特長をきいたところ、「自然が豊か」が9割半ば(95.9%)で突出して高く、「都心から近い」が4割半ば(44.3%)と続いた。

【その他】

大学の多いまちで知られているのに、どこにどんな大学があるのか市民も知らない。そのような大学めぐりのツアーでもあるとよい。

問5 あなたが、ご自身で観光される場合、または市内を案内される場合、観光地やイベントなどの情報を、どのような方法で入手しますか。

(○は3つまで)

(n=97)

	構成比(%)
広報など市の発行物や観光マップ	56.7
書店などで販売しているガイドブック	41.2
ホームページ(携帯電話用も含む)	40.2
駅などに設置されているパンフレット	37.1
タウン誌、ミニコミ紙	33.0
口コミ	21.6
観光協会に問い合わせる	9.3
テレビ	9.3
市役所に問い合わせる	6.2
その他	2.1
無回答	1.0

(複数回答)

自身で観光される場合、または市内を案内される場合に観光地やイベントなどの情報をどのような方法で入手するかきいたところ、「広報など市の発行物や観光マップ」が5割半ば(56.7%)で最も高かった。「書店などで販売しているガイドブック」が(41.2%)、「ホームページ(携帯電話用も含む)」が(40.2%)と続いた。

【その他】

- 1 街中のポスター
- 2 電車のつり革広告

問6 あなたは、市の観光施策についてご存知ですか、それぞれの施策について、当てはまる回答の番号をお選びください。

- 1 知っている 2 聞いたことがある 3 全く知らない

A：森林再生や景観の保全等の自然保護

- 3 全く知らない (40.2%)
2 聞いたことがある (30.9%)
1 知っている (24.7%)
無回答 (4.1%)

B：交流拠点施設の整備（道の駅、夕やけ小やけふれあいの里など）

- 1 知っている (53.6%)
2 聞いたことがある (22.7%)
3 全く知らない (20.6%)
無回答 (3.1%)

C：観光施設（トイレ含む）の維持管理

- 3 全く知らない (44.3%)
1 知っている (30.9%)
2 聞いたことがある (22.7%)
無回答 (2.1%)

D：案内看板の整備

- 3 全く知らない (46.4%)
1 知っている (28.9%)
2 聞いたことがある (22.7%)
無回答 (2.1%)

E：高尾山麓駐車場の整備

3 全く知らない	(56.7%)
2 聞いたことがある	(23.7%)
1 知っている	(17.5%)
無回答	(2.1%)

F：町並みの整備

3 全く知らない	(42.3%)
2 聞いたことがある	(37.1%)
1 知っている	(18.6%)
無回答	(2.1%)

G：市内イベントの充実・新しいイベントの開催

3 全く知らない	(39.2%)
2 聞いたことがある	(36.1%)
1 知っている	(22.7%)
無回答	(2.1%)

H：八王子独自の名産品の開発促進

3 全く知らない	(44.3%)
2 聞いたことがある	(32.0%)
1 知っている	(21.6%)
無回答	(2.1%)

I：フィルムコミッション事業

3 全く知らない	(73.2%)
1 知っている	(13.4%)
2 聞いたことがある	(11.3%)
無回答	(2.1%)

J：八王子観光大使制度

1 知っている	(59.8%)
2 聞いたことがある	(24.7%)
3 全く知らない	(13.4%)
無回答	(2.1%)

K：市内観光ツアーの充実

1 知っている	(55.7%)
2 聞いたことがある	(27.8%)
3 全く知らない	(14.4%)
無回答	(2.1%)

L：文化・伝統芸能の発進

2 聞いたことがある	(42.3%)
3 全く知らない	(38.1%)
1 知っている	(17.5%)
無回答	(2.1%)

M：観光パンフレット設置場所や観光情報のホームページ充実など

2 聞いたことがある	(44.3%)
3 全く知らない	(36.1%)
1 知っている	(16.5%)
無回答	(3.1%)

N：大学等との連携による観光機会の増加

3 全く知らない	(57.7%)
2 聞いたことがある	(27.8%)
1 知っている	(12.4%)
無回答	(2.1%)

0：海外からの観光客の誘致事業

3 全く知らない	(83.5%)
2 聞いたことがある	(10.3%)
1 知っている	(4.1%)
無回答	(2.1%)

問7-1 市の観光振興のための環境整備において、あなたが特に力を入れてほしいと思うものは何ですか。

(○は3つまで)

(n=97)

	構成比(%)
観光施設(休憩所、ハイキングコース、トイレなど)の整備・維持管理	74.2
森林再生や景観の保全等の自然保護	71.1
歴史・文化を活かした町並みの整備	43.3
交流拠点施設の整備(道の駅、夕やけ小やけふれあいの里など)	32.0
駐車場の整備	29.9
案内看板の整備	19.6
無回答	1.0

(複数回答)

市の観光振興のための環境整備において、特に力を入れてほしいと思うものは何かきいたところ、「観光施設(休憩所、ハイキングコース、トイレなど)の整備・維持管理」が7割半ば(74.2%)で最も高く、「森林再生や景観の保全等の自然保護」が7割強(71.1%)と続いた。

問7-2 市の観光振興のためのPR（宣伝）において、あなたが特に力を入れてほしいと思うものは何ですか。（○は3つまで）

(n=97)

	構成比(%)
市内イベントの充実（新しいイベントの検討・開催など）	55.7
八王子独自の名産品の開発促進	53.6
フィルムコミッション事業（映画やテレビドラマなどに協力）	22.7
八王子観光大使制度	22.7
市内・伝統芸能の発信	22.7
文化・伝統芸能の発信	22.7
観光パンフレットや、観光情報のホームページの充実など	22.7
海外からの観光客誘致事業	22.7
食のブランド発信	22.7
無回答	2.1

(複数回答)

市の観光振興のためのPR（宣伝）において、特に力を入れてほしいものをきいたところ、「市内イベントの充実（新しいイベントの検討・開催など）」が5割半ば（55.7%）で最も高く、「八王子独自の名産品の開発促進」が53.6%と続いた。

問8 あなたは、市の観光への姿勢について、どのように考えますか。最も近いものをお選びください。（○は1つだけ）

(n=97)

	構成比(%)
高尾山に限らず、市内の自然や名所・旧跡・イベントの紹介を充実させるべきである。	53.6
八王子の地域性を活かしたエコツーリズムや教育ツーリズム、企業見学など、ニューツーリズムといわれるテーマ性のある観光に取り組むべきである。	32.0
八王子の観光施策は高尾山に絞るべきである	5.2
海外からの観光客を誘致するため、積極的に海外でPR（宣伝）を行なうべきである	2.0
その他	5.2
無回答	2.0

市の観光の姿勢について、どのように考えるかきいたところ、「高尾山に限らず、市内の自然や名所・旧跡・イベントの紹介を充実させるべきである」が5割強（53.6%）と最も高く、「八王子の地域性を活かしたエコツーリズムや教育ツーリズム、企業見学など、ニューツーリズムといわれるテーマ性のある観光に取り組むべきである」が3割強（32.0%）と続いた。

※ニューツーリズムとは、従来の物見遊山的な観光旅行に対して、テーマ性が強く、人や自然とのふれあいなど体験的要素を取り入れた新しいタイプの旅行と旅行システム全般を指す。テーマとしては産業観光、エコツーリズム、グリーンツーリズム、ヘルスツーリズム、ロングステイなどが挙げられる。

【その他】

- 1 私が知らないだけかもしれないが、もっと、八王子市の特色を生かした、物、人、見所等を発掘するようにしたらよいと思う。自薦・他薦で。
- 2 人が集まれるような環境整備が必要。
- 3 旭山動物園のような確固たるテーマ（営利目的でなく）があるとよいと思う。
- 4 現状のままでよい。イベントのパンフレットも派手だし。
- 5 人を集めるだけでなく、訪れた人が何かを得ることができ、また来たいと思えるような観光とすべきである。

問9 あなたは、八王子市の観光にどのような関わり方をしたいと思いますか。
（○は1つだけ）

(n=97)

	構成比(%)
アイデアや意見の提案などモニターとして関わっていききたい	70.1
高尾山のボランティアガイドやフィルムコミッションへのエキストラ参加、観光ホームページへの写真提供等で積極的に関わっていききたい。	15.5
特に関わりたいと思っていない（理由）	10.3
その他の方法で関わりたい（内容）	4.1

八王子の観光にどのような関わり方をしたいと思うかきいたところ、に関わり市の観光の姿勢について、どのように考えるかきいたところ、「アイデアや意見の提案などモニターとして関わっていききたい」が約7割（70.1%）と突出して高かった。

【特に関わりたいと思っていない（10.3%）】を選んだ理由 ※（ ）内は同一意見数

- 1 あまり自分が関わることは考えたことがない。
- 2 私の仕事とは今のところ思わない（利用者として利用はしてみたいが・・・）。
- 3 以前、高尾山のボランティアガイドサポーターを受けたことがあるが、全くの個人負担ではボランティアといえども限界があるのではないか。
- 4 関わりたい方法等、姿勢がわからない。
- 5 体力的に。
- 6 あまり興味ない。（2）

【その他の方法で関わりたい（4.1%）】を選んだ内容

- 1 自分自身がよく登山で地方に行くので、よいところを伝えることはできると思う。
- 2 選択項目の「高尾山のボランティアガイドやフィルムコミッションへのエキストラ参加、観光ホームページへの写真提供等に積極的に関わっていききたい」のボランティアガイドに加え、勉強会などをしながら季刊誌やサイトなどからの発信などをする一般公募のグループづくりの支援をいただいて、関わりたい。

問10 観光行政について何か御意見がありましたら、ご自由にお書きください。
(300字以内)

- 1 どこにでもある、という様な観光誘致は古いと思う。このことに関して、問9の答えのように、広く多数の意見を集めるのも、一つの方法だと思う。
- 2 高尾山があるからという甘えがあるのではないかと思うぐらい存在は薄いと感じる。
- 3 高尾山が有名になったのは嬉しいことである。でも俗化はあまり好まない。自然がすばらしいのが一番である。三ツ星以来、人が多すぎるのも考えものである。静かで安らぐ山であってほしい。
- 4 八王子の観光は高尾山しか思い浮かばない。学園都市八王子というが、つくば学園都市と比べ、単に大学が多いだけで、それも優秀な大学とはいえない。高尾山の魅力増大を図ることを集中特化し、外貨を稼ぐことを最優先すべきである。別な観光資源といえば、城や絹の道よりは川であり、鮎ののぼる川等イメージアップを図るべきである。「山・川・公園のまち 八王子」

- 5 八王子に住んで4年になる。それまでは横浜に住んでいた。八王子を選んだのは、東京都にありながら身近に自然あり、山梨や長野といった観光地にも近く、働くことと遊ぶことのどちらの面もバランスよく楽しめそうな土地だったからである。ここ数年は高尾山目当てで八王子を訪れる観光客が多いようだが、市内の歴史的建物や史跡についてもこの機会に知ってもらい、八王子の奥深さが沢山のの人に知れ渡ることを期待している。高尾山だけではない八王子の魅力をもっとアピールしてほしい。
- 6 八王子の観光行政は、まだ充分とは言えない。立川や日野等のように、フィルムコミッションを行い、活発に八王子をアピールすべきだと思う。北島三郎も観光大使になっているのに、八王子の観光大使としての活躍は、目立ったものが無いように思えてならない。
- 7 ミシュラン三ツ星のお陰で高尾山の人気が凄く、外国人も多く訪れている。来てくれた人が満足するように、ケーブルカーの増発、トイレの整備、みやげもの、レストランの充実等、早急に手を打つべきだと思う。ここから八王子の発展の道が開けるように思う。
- 8 八王子は、都心からも40分くらいで来れ、意外に近い東京の観光地であることをもっとアピールして、高尾山が人気沸騰しているのを山麓あたりに、古い家屋や昔の街道を思わせる民家の移築などをして（馬籠宿のような雰囲気）八王子野菜や、民芸品等売れば、女性客や外人客に受けることまちがいなしである。財源があると思うが、ほっとできるような場所が身近にあり活気あふれる八王子になればと思う。
- 9 八王子市が今持っている資源を大切に保存する。まず、市民にPRし、認識してもらおう。行政の活動PRとボランティアの活用。話題づくり。日本一施策。日本一になる要素をピックアップしてそれを強化、ブラッシュアップさせ継続強化して日本一にする、また世界一にする。
- 10 他にはない八王子ならではの何かを時間をかけてじっくりと創りあげて行って貰いたいと思う。八王子ならではの特色ある景観、八王子ならではの美観、八王子ならではの食…等々である。
- 11
 - (1) 他の都市がうらやむ素材は豊富だが各々が点として存在しており、線や面にして、食を含めた魅力を増大するために観光事業者や観光客の意見を参考にしてほしい。
 - (2) 高尾山は、私も毎月のように行くが、混雑しすぎているので、歩道や休憩所の整備を望む。
 - (3) 武蔵御陵は、もっと多くの人々が参拝に来場してよい施設と思う。
 - (4) 多摩森林科学園は、駐車場をつくってほしい。

- 1 2 観光に偏りすぎた事業を進めることにより、文化が、雰囲気が壊される。今のままでよいのでは。
- 1 3 市内の観光地として、挙げられている場所はどこも交通の便が悪い場所のように思う。
- 1 4 具体的に何を行っているのかと、知らない人が私ばかりではなく、多くの人知らないのだと思う。もっと多くの方々が意見、参加できる仕組みを考えてはいかがだろうか。
- 1 5 人が集まるようにするには、まず集まれるような環境整備が必要。八王子市は他の市、例えば近隣の町田市、相模原市に比べてあまり力を入れていないように思える。例えば、片倉城跡は最近少し手が入っているようだが、ほとんど荒れ放題、その他の公園も町田市や相模原市に比べて、市民の憩いの場である公園などもほとんど整備されていない。高尾梅郷は数年前に行ったときはトイレすらなかった。人を集めるためには、景観整備はもちろんだが、交通（駐車場を含めて）、トイレ、飲食の提供の場が必要。吉野梅郷は、駐車場の整備（民間）、トイレの整備、また地域のボランティアの活動などを積極的に活用し、高尾梅郷とは段違いである。また、町田市の薬師池公園は園内の施設で障害者を働かせて、雇用を創出している。八王子市に観光で人を集め、地域でお金を使ってもらい、市を活性化していくには、宣伝より先に、環境整備が必要。そのために、ボランティアを活用すること、荒れ放題の環境を整備し、トイレの整備、飲食の場をつくること。またそこで、障害者等の雇用の場を提供することなどを考えるとよいと思う。高尾山も京王電鉄とケーブル会社と駅から頂上までの飲食店（多くの人がお弁当持参）しか儲かっていないのではないかと。トイレも行楽シーズンは少なすぎる。川越市のような取組みも考える必要がある（古い町並みを残し、川越のうなぎなど名産があり、駄菓子など人が集まる要素を上手く取り入れている）。そういった環境をつくれば、宣伝しなくても人は自然に集まってくる。
- 1 6 このアンケートに対応することで、八王子市の持つ貴重な観光資源に改めて気付いた。今後もそれを更に活発化して行くことが重要だと考える。
- 1 7 今のところ、八王子の観光は高尾山以外では全くといっていいほどないと思う。花火大会など 30 年近くずーっと同じようでも新たな感じがない。南口もやっと少しは開発されるかと思いきや魅力的な施設がまるでない。立川は駅ナカなどどんどん充実させていっているのに八王子は寂れていっているような気がする。近隣の友人達の集まりなどでも皆、立川の利用は多いが八王子はあまりない。市として観光産業の振興に取り組んでいるとは正直思えないので、もっと魅力的なまちづくりをしていく努力をしてほしい。

- 1 8 八王子市としての収入を増やす観点からは、八王子市民以外の方が訪問してもらい消費してもらうことで、活性化が出来るのでは？八王子市街でもシャッター店が多いのだが、バイク・自転車を停めるスペースに活用出来ないか？一時預かりでもいいので、どうせ店を閉めてその場所が活用されないのは実にもったいないといつも思う。それと八王子JR駅地下駐車場は車だけを考えている？ようであるが？自転車・オートバイをもっと格安で駐輪できるようにしてもらいたい。同じく、車を優先して駐車させているが、自転車をもっと市街地に駐輪できるように有料でいいから整備して、CO₂排出削減に取り組んでほしい。要するにアクセスを容易にする算段を考えないと人は呼べない。
- 1 9 八王子市は、とても大きな市であるので、市民でも、市内で行ったことのない観光スポットがたくさんあるのではないかと思う。自分自身も含めてである。積極的にイベントを開催するなどして、観光スポットに行く機会を提供してほしい。市内の人が行くことによって、市外の人にも宣伝できるので。自分で行ったことのないところを、他人に教えることはできないので。
- 2 0 八王子の観光と言われても高尾山と御陵と城跡しか浮ばない。甲州街道にもう少しインパクトがあったり、千人同心をもう少しPRする？でも今のまんまでも構わないかも。観光にお金をかけるのなら、もう少し違うことに財政をかけてもいいか・・・という感じもする。歴史が好きな人は自分で調べるだろうし、特に何も望まない。トイレや休憩所はきれいな方が嬉しいが。ちなみに、いちようまつりで松姫を演じるお姫様と戦国時代絵巻行列を並ばせて行列をつくり、一般市民もしくは希望者を募って練り歩くのもいいかも。松姫でなく、八王子に関わる有名人でもOKである。いちようまつりのクラシックカーやよさこいもワンパターンで飽きている人もいるかもしれない。
- 2 1 高尾山、武蔵陵など古い伝統を残しつつ、一方、ニュータウンを備えた市であり、過去→現代→未来へとつながるまちであると感じている。そのまちづくりをテーマとした催し等、観光客の誘致活動が出来ないものだろうか。
- 2 2 観光行政が発展すると、市民の産業や商店の販売促進が向上してそれらがひいては市税アップにつながるので観光行政はとても大切なことだと思う。高尾山がミシュランガイドに載ったことで海外の方々も大勢みえてくるらしいので、この集客を他の観光にも足をのばしてもらえるように検討していかなくてはならないと思う。高尾山から即電車で都内に戻ってしまうのではなく、楽しいイベントや更なる見学場所の設定を考えるべきだと思う。
- 2 3 八王子市は広く、緑豊かな市であるが、なんとなく田舎というイメージがある。学園都市であり、若い世代のひともたくさん住んでいる。もしくは訪れているのにあまり観光するというイメージはない。何か八王子の名物料理などで（宮崎の地鶏などのように）何かこれといったものがあると楽しいのではないか。富士宮

のやきそばや厚木の白ころホルモンなどは、テレビで見て実際食べに行ったりしたので。わざわざいきたい感をアピールできると思う。花火大会や巨大なクリスマスツリーなどでも楽しそうである。

- 2 4 八王子というと高尾山・大学の多いところというイメージだが、先日、八王子城跡に行って、ボランティアスタッフから説明を聞いて見学をしたら大変よいところと認識した。他にもよいところもあるかと思う。もっとフィルムコミッションなど活用して認知度を上げると東京都心から近く観光客も増えるかと思う。また、残念なのがお使い物になる土産物がない、何時も出かける時に頭を悩ますのである。若いまちとイメージもあるのだから、是非チャレンジしてほしいと思う。
- 2 5 八王子には、多くの観光地がある。私は観光行政を進めるためには、
第1に地域の観光にオリジナリティ、創意、工夫、地域の自助努力が必要である。
第2に行政とNPO、地域住民との連携など官民一体となった推進体制をつくること。
第3に民間事業者が実施する色々なイベントの開催に行政も連携していくこと。
第4に、観光地（高尾山等）の観光案内所、休憩施設、案内標識の設備の充実を図ること。
以上のような、きめ細かい点について推進していくことが観光行政にとって特に重要であると考えている。
- 2 6 八王子市民会館、いちようホールの駐車場のスペースが少ない。時には入れない場合があつて困る。何とかもう少し場所を確保してほしいと思う。
- 2 7 八王子に永年住んで本当に素晴らしいと感ずる一点は都心から近距離でありながら、自然と気持ち良く調和していることである。浅川を散歩して、コサギ等野鳥の豊富、四季折々の花々と自然と溶けあっている川は都内唯一といっても過言ではない。高尾山を起点として浅川を散策、武蔵陵墓地、極楽寺、横山党等、歴史史跡を加え八日町経由八王子中心部を通り、伊勢屋等々の名店を見学、買い物をするバラエティの富んだコースは、老若男女を問わず無理なく自然歴史を探訪出来る。高尾～町田街道入口の整備が必要だが、浅川に沿った案も一考の余地がある。自然回帰がますます必要な将来、一過性でなく長期視点での検討も含める時期だと考える。
- 2 8 八王子は面積が広く、自然も豊か。子どもが生まれてからは、特に、自然の豊かさへの感激が増したように思う。夕やけ小やけふれあいの里などは素晴らしい場所なのに、存在を知ったのはまだ最近の話である。独身時代は高尾山以外知らないところばかりであった。もうちょっとPRがほしい。具体的には市のHPで簡単な観光マップみたいなのがあったらどうだろう。今もあるのかもしれないが、少なくとも私は気がついていない。市のHPはけっこうよくみるのに。

- 29 高尾山登山が有名になっている今、八王子市への観光をアピールする絶好の機会だと思う。高尾山を登った後でも気軽に立ち寄れるスポット（例えば大型入浴施設など）を紹介して高尾山以外にもよい所があるということをどんどん発信していく必要があると思う。高尾駅で登山姿の方々と出会いますが、山登りだけしてそのまま中央線に乗って帰ってしまわれるようである。もっと八王子市を楽しんでほしいと思う。
- 30 外に向けてのPRも大切だが、市民自身も八王子の文化や特色についてもっと知りたいと思う。市民がもっと地元へ愛着が湧くようなイベントや冊子の作成などにも力を入れてほしい。その際には、市民も気軽に参加できるような（携帯やパソコンから口コミや情報を投稿できたりなど）制度になるといいと思う。
- 31 八王子の観光名所というやはり「高尾山」だろう。しかし、次をあげるとなると難しい。ショッピングなら、むしろ立川の方が活気もあるし、楽しいスポットも多い。グルメといってもこれといった店が浮かばない。有名な観光名所には、人の集まる飲食店とおみやげ品を扱う店がある。例えば、鎌倉にいった場合、大仏をみたあと甘味処でお茶を飲み、帰りに魅力的なおみやげを買って帰るだろう。それらがセットで観光なのだと思う。特に女性はその傾向が強いと思う。八王子も観光名所だけをアピールするだけでなく、飲食店とおみやげ品をセットでアピールしていった方が人が集まると思う。合わせてミニコミ紙やタウン誌も活用してほしい。
- 32 八王子に引っ越してくる前に、八王子駅の周辺で買い物をしていたら、駅前の車あまり入らない商店街に風俗の宣伝車が走っていて、よい印象を持たなかった。なので、それ以来八王子駅の方へ買い物等でも出かけようと思わないし、行っていない（今はどうなっているのか知らないが）。いくら観光に力を入れても、治安が良くなければ、また来てもらえない。暴走族等の治安対策をもっと充実させて解決しないと（駅ビルの事件もあるし）八王子に安心して遊びに来て下さいとは、私は言えない。
- 33 観光そのものにだけ焦点をあてるのではなく、地域代表として、この観光地ではエコを率先する姿勢（分別箱と分別プレートをしっかり設置するとか）があるんですよ、というアピール性やディズニーランドのようにいつもトイレがきれいな状態であると魅力的だと思う。あと、これからどうせ新しく設置するのであれば、今後の海外からの観光者も意識した最低限「英語」付きの標識やプレートをつけるといいと思う。八王子市が観光に取り組んでいることを、お恥ずかしいお話したが、あまり意識していなかった。このアンケートをきっかけに私自身の八王子観光に対する意識が高まりそうである。

- 3 4 当市のボランティア体制と云うものは基本的に完全な個人負担が前提となっている。財政的に苦しい行政としては大変とは思いますが、完全に市民に負担を強いることでは十分な協力は得られにくいのではないかと。
- 3 5 観光については、八王子市の知名度を上げるにはよい方法だと思うが、観光八王子を売りにするために多くの税金を使ってまで観光八王子をうたい文句にしなくてもよいのではないかと。観光地を抱える一部の業者だけが恩恵を受け、その周りの地域は観光客によるゴミや迷惑だけを負うのはどうかと思う。観光からの税金の増収も馬鹿にならないと思うが、住民が憩いの場所として観光地があることをもとに考えてもいいのではないかと。観光慣れした観光地にならないような、八王子の観光にしてほしいと思う。
- 3 6 八王子市主催の文学散歩など企画してほしい。八王子独自の文学賞など設置してほしい。
- 3 7 八王子に住んでいながら、観光地（問2）や行事にほとんど参加していなかった。京王ニュース（新聞の折込みに月1回）の『ぶらり小旅行』のように、毎月、八王子の観光スポットを紹介する機会があるとよいと思う。
1日と15日発行の八王子市報に載せていただくとありがたい。（今までにも載っていたようだが、花便りと共に載せてもらえたら嬉しい）
城山かたくりの里とその周辺。お気に入りのお店とレストランとか。時間とお金がかかりますか？月に一度、大人の遠足として、やってもらえたら・・・。
- 3 8 八王子といえば高尾山、それだけを目的に訪れる人がほとんどである。今熊や陣馬山など魅力的なハイキングコースがあり、また滝山城、片倉城、八王子城などの城跡、美術館めぐりや郷土資料館案内、何より広いまちに散在する数多くの大学、市民でも訪れたい所がいっぱいだが、バスの便がとても悪い。このような所に周遊バスをぜひ走らせてほしい。自然が多いまち、八王子を大いにPRするのが望ましい。
- 3 9 遠方の友人は「八王子＝はちおうじ」という語感が素敵だといっている。また、高尾山はいまや「全国区」である。市民の誇りである。子どもの頃から何回も登った。バランスのとれた八王子の自然を守るような観光行政を手抜くことなく、実施してほしい。
- 4 0 八王子まると観光とって、観光産業についてモニターに聞いているが、一個人のモニターだが、15年から観光産業を聞いているが、知らない。なぜ、認識や期待を聞くのか。市として宣伝してきても私は知らないし、大勢の市民も知らないと思う。市として基本方針として取り組んでいるから、すべての人達（市民）が知っているように記しているがおかしい。モニターは市民を代表しているのだから、知らないことはいえないし、知っていることは、素直に話している。

- 4 1 渋滞等交通対策、観光資源の創出、観光に訪れた人達が憩える場所の充実を推進してほしい。
- 4 2 (1) 問9の選択項目の「高尾山のボランティアガイドやフィルムコミッションへのエキストラ参加、観光ホームページへの写真提供等で積極的に関わっていききたい」だが、「ボランティア」と「エキストラ参加」は大きく異なるので分けたほうがよい。「エキストラ」に参加したい人はゴマンといえるだろうが、ボランティアは少数。多くの方は、「エキストラ」のような楽しみのためなら時間を喜んで使うが、ボランティアについては、楽しみを見出せないばかりか、「楽しくもない無償の労働」(＝生活時間を犠牲にしてまで、苦しみを味わいたくない)。ちなみに私自身は、エキストラ参加なら積極的に考えたいと思っている。
- (2) フィルムコミッション事業は、もし税金を使わないのであればどんどんやってもらいたい。エキストラは、エキストラ業者任せ。エキストラには、その業者からそれなりの記念品を参加記念品として与える(タオルなど、日用品でよい)。
- 4 3 八王子には高尾山に代表される自然や歴史あるお寺など観光スポットは結構あると思う。その一方、かつて賑わっていた商店はシャッターが閉められていて淋しくなっている。八王子に行っても、駅周辺で用を済ませるとすぐ帰ってしまう人が多いように思う。駅から周辺へと足がのばせるような工夫がほしい。
- 4 4 自分自身よく地方に行くが、行政で駐車場を用意してあるかどうかが一番気になる。東京都はよくやっている方だと思う。また、案内板(特に道路上によくある行き先と○△×mとあるのが便利に感じる。カーナビの時代だと思うが、歩いている人にも便利だと思う。どこに行っても同じような店があるよりも、地方によって差があるのが観光する方としては楽しいと思う。地域性を出すためにも健全に経営をしている小さな商店等の紹介も行政が担ってもよいと思う。また、自分が他地域に行くときは行政のホームページをよく見るので、ホームページが充実しているとそれだけでも魅力を感じる。
- 4 5 職員の窓口対応で「人を見る目」を養ってほしい。裏高尾町の住宅地に接した駒木野公園を撮影使用で公園課に電話での問い合わせ内容と地元住民に対する説明で2時間の差があり、その後の問い合わせしたときに対応した職員は、許可を出したのは「見た目がよかった」と電話口で説明を受けた。人間は誰でも窓口で印象をよくするために努力はする。しかし、ウソをつく若者を信用して住民の話に真摯に耳を傾ける姿勢が職員になく。20時で問合わせ22時まで説明する「ウソの話」をしている若者グループに使用許可出すというお粗末な職員。文化だ、映像だ、観光だと文字に浮かれて「人を見る目」が「見えないメガネ」で使用許可をださないよう努力してもらいたい。

- 4 6 新しく名物などをつくってもそれを定着、認知させるのは本当に大変だと思うし、必ずどこかの名物とかぶってしまい、オリジナリティに欠けるのが常なのでそういうことはしない方がよいと思う。そのかわり、八王子といえば・・・で誰でも知っている高尾山や周辺の山に絞って設備の充実（公衆トイレ etc）や駅前の観光ビルの整備をすすめるべきだと思う。山の上の方に公衆浴場をつくってもよいと思うし、高尾山で食べられるグルメ（よくあるお団子やカレー etc でよいと思うが）施設を充実させたらよいと思う。もちろん、山道の手入れも重要だと思う。
- 4 7 新しく観光地として定め、これが世間に知られるような存在とするには、相当の時間と宣伝等が必要であろう。八王子の場合、既に全国的に広く知られている高尾山、多摩御陵があるので、これを大切に守っていくことで充分ではないかと思う。今さら中途半端な観光地的なものを設けて売り出す必要はないと思う。
- 4 8 8月の第1金・土・日曜日に行われる八王子まつりだが、山車巡行・神輿渡御・民謡流しなど、夕刻からのものが多く、老人、子どもには見に行きにくい時刻である。土曜日、日曜日は、学校も会社もお休みのところが多いのだから、昼頃から始められないのだろうか。
- 4 9 我が八王子市と観光という言葉が結びつきにくく戸惑った。ベッドタウンのイメージが強く、高尾山と多摩御陵くらいしか思い浮かばなかったからだ。吟行して市内を歩き回っている家族にも聞けば、八王子は広いわりに心躍る程の緑も、名所も少なく、あっても、そのまわりに汚い建物やせまい道、手入れがされていない樹木やゴミ集積状況などがあるという。確かに、観光地だと意識が住民に行き渡れば、違法行為も減り、美意識が高まり、まちを、山を美しく整える基盤ができるのではないかと思う。今の八王子はお客様の来ない家のようにだらしがない。他からの目を感じるよう、市民全体をまず啓蒙していくべきだろう。
- 5 0 市内には高尾山や八王子まつりという集客場所があるので、もっと観光スポットとして全国的にアピールしてもよいと思うが、その前にまず、市が受け入れ体制を整備してもらいたいと思う。八王子まつりを例に挙げると、山車が出ているときの歩行が非常に困難であること。ゴミが散乱している、臨時駐車場がない、山車をひくことのできる町内とできない町内がある等。これらを改善したうえで、市民全体で盛り上がるようになればアピールする価値はあると思う。近隣の市ではグリーンツーリズムの案内をスーパーで配布したり、フィルムコミッション事業に力を入れていたり市観光をアピールしている。八王子市の観光課も負けずに頑張してほしいと思う。
- 5 1 私は高尾山が大好きである。以前は真冬真夏を除いて、しょっちゅう訪れていた。ミシュランに載るまでは・・・。たしかに、高尾山の魅力を沢山の人が知ってもらうのはよいこと。でも、本当に高尾山が好きな人が来ているの？と、今は疑問に思ってしまうような光景を目にすることが多い。サンダルで山に登る人、たば

こを吸う人、入ってはいけない所に入る人、マナーの悪い外国人。高尾山は、たくさんの人に知られたけど、私のように、以前の静かな場所を望む人には、迷惑なことである。八王子は、この現状を喜ばしいこととして捉えているのだろうかと少し淋しい気持ちをもっていたので、いい機会だと思い、意見させてもらった。

5 2 八王子は、ミシュランの三ツ星観光地に選ばれた高尾山をはじめ、魅力ある観光スポットは数多くあるものの、八王子ブランド特産品が、今一ひとつ薄く感じられる。八王子といたらという商品を開発し、宣伝していたら、地域活性化にもつながっていくと思う。また、観光マップ等も、季節に合わせた見所、オススメスポットの更新や、訪れた方の感想やコメント等をホームページなどに紹介していたら、多くの方に見てもらえ、口コミで広がっていくように思った。

5 3 八王子は自然が豊かであるから、外交人をもっと誘致したい。そのためには英語の看板などをもっと増やすべき。英語などのガイドを増やす。

5 4 市民としてはあまり普段考えなかったが、他の自治体に負けない「これぞ1品」をぜひつくり上げ、PRしてほしい。ミシュランのような外部の評価機関にPRして八王子市民も納得するものをつくってほしい。

5 5 八王子には豊かな自然があり、観光としてもすばらしい所だと思うが、それを活かしていないと思う。1つには行政主体から地域・民間・各種団体主体の観光にすべきだと思う。その上でそれらをリンクさせ、バックアップするような役割を行政に期待する。行政が地域と住民を縛り、八王子の観光を一部の組織に偏った偏狭なものにするのではなく、地域と住民に開放し、経済的にも援助してもらえると非常に助かる。しかしながら、一番のネックは所管の違いによる縦割り行政の弊害である、これにはもう閉口する。1つの課では了解を得られても、次の課に行くと「聞いていない」「知らない」。これでは八王子市としての行政はチーム力はゼロと言わざるを得ない。役所が1つとなって観光行政に取り組んでいかなければ、八王子はいつまでたっても「八王子？知ってる。小学校のとき、遠足に行ったところ（高尾山）」「八王子？ああ、お墓参りに行くところでしょ」のままだと思う。

5 6 桜の名所をつくってみては？8人の王子をもっとクローズアップしてみては？

5 7 36年近く暮らす八王子で強く印象に残るイベントは、八王子まつり・いちようまつり・八王子花火である。特に八王子まつりは、もっと全国に宣伝してよいまつりだと思う。5,000人参加の民謡流しは、特に素晴らしく、これだけの人員参加は珍しいのではないと思う。

踊る曲を特定しての競技を開催しても面白いのではないか。さらにいちようまつりでも舞踏競技会を陵南公園で開催するのもよいのではと思う。

- 5 8 戦国時代の歴史に興味があるので、この春家族で滝山城と八王子城に行ってみた。どちらもよく整備され、想像以上のスケールで圧倒された。ただ、地図を持って車で行ったのだが、特に前者は道に迷い、車を降りてからも、どこから城跡に登ればよいか戸惑った。大きくて目立つ案内板があれば、遠方から来る人にも安心で、観光に力を入れている八王子市を印象付けられるのではと感じた。また、後者は駐車場も広く、訪れている人も多く、活気を感じた。百名城にも選ばれているので、何か記念になる物が欲しかった。個人的には休日だけでもよいので、土産物が買える売店があればと思った。道の駅から離れているので。
- 5 9 八王子は古くからの名所・旧跡（武蔵陵墓地・八王子城址等々・・・）と、都心から日帰りで訪れることができる豊かな自然が魅力であると思う。高尾山はミシュラン三ツ星に選ばれ、観光客がたくさん増えたが、他の観光地についてはあまり知られていないことが多い。都心の駅構内などにポスター・チラシを掲載し、八王子の魅力的な観光箇所、豊かな自然をPRするとよいと思う。
- 6 0 自分達が生活をするを選んだ土地なので、八王子が観光の面でも活性化されることは喜ばしいと思うし、そのためならば、地域の協力は得られるのではないかと思うので、その気持ちを汲み取るプロジェクトや、アンケート等の実施をしていけばよいのではないかと思う。
- 6 1 都内自治体のなかで、当市の地理的条件等を考えると他と比較して観光行政のウェイトが高くて当然だと思う。ただ、観光行政は行政自身が主体となる必要はなく、観光関係団体に対する支援等による民間活力の活用になじむ分野だと思うので、その点を配慮して効果的な施策を推進してもらえればと考えている。
- 6 2 去年の今頃だったと思うが、外国人向けガイドブックに高尾山が紹介され、三ツ星クラスだと取り上げられていた。その結果、昨秋のハイキングシーズンは高尾山の利用客が過去最高だと聞いた。私もちょうどその時期に行ったのだが、ものすごい人でびっくりした。八王子にはすばらしい観光スポットがあり、こういった自然をもっと大事にすべきだと思う。
- 6 3 イベントなどの情報公開をもっとやってほしい。また、八王子市の中心部だけでなく南大沢周辺でのイベントをもっとやってもらいたい。
- 6 4 高尾山がミシュランに選ばれたことはとても名誉なことだと思うが、それが市として大きな喜びとして取り上げられていないように思う。今回のアンケートでニューツーリズムという言葉を知り、八王子にとっても合うものだと思う。TVで「マイファーム」(?)の話題を見て、他にはない八王子に人を呼ぶには最高のものではと思う。自然が活かされ、土地の利用も出来、同時に地産地消につながるのでは。道の駅が好評だと聞き、農業に関連してさらに他の地域の人にも知ってもらえるチャンスではと思う。財政面でも莫大な費用ではなく導入できると思う。ショッピングセンター等では味わえない八王子を他県の人にも味わってもらいたい。

- 6 5 積極的に応援したい。住んでいるまちが皆に支持してもらえるのはうれしい。メディアで名物やお店が紹介されるとよいと思う。
- 6 6 観光行政における視点は、自然、産業、遺跡を含めた観光資源を保全する一方、観光客を集めるという、相反する二面性を持っている。もちろん、観光資源である限り、より多くの人々に知らしめる。そのための観光客集めは主目的の一つであり、このことが観光資源の保全、そして次世代へ引き継ぐための原動力であることには間違いない。そこで行政上の重要な課題は、観光資源を明確にし、その価値と、訪問者を集める目的をはっきりすることが、自然観光、遺跡、織物に代表される地場産業、工業団地、学園都市など、その対象が多岐に渡る八王子においては特に重要である。間違っても、観光化され過ぎた、名物に旨い物なしという悪い観光都市の見本になってはならない。
- 6 7 観光だけに限らないが、八王子市は地域性もあるのだろうが、かなり改善されつつあると思うが、道路などのインフラ整備が他の市町村と比較して遅れているのではないと思う。観光には、交通機関の整備充実が不可欠と思う。また、行政面では「広報はちおうじ」の一部を使い、八王子市の観光・すばらしさについて市民の啓蒙を促進してほしい。
- 6 8 (1) 八王子市内各所で、年中様々なお祭りが開催されているが、有名なものだけでなく、小さなお祭りも市報で告知されるといい。
- (2) 春から秋にかけては、イベントが多いのだが、冬のイベントとして、イルミネーション、初もうで、節分のPRもあるといい。
- (3) タヤけ小やけふれあいの里は素敵な所で、ホテルが見られたり、またイルミネーションが素敵だが、食事がしにくいのが残念である。軽食のような物が売っていたら、更によいと思った。
- (4) 最近では、地方でゆるキャラが人気なので、八王子もゆるキャラをつくって盛り上げたらよいと思った。
- 6 9 観光ということで人を呼ぶことで市内の活性というイメージがある。ただ、八王子市という地域に、住んでいるまちが魅力があるということはそれぞれの市内の地域が魅力ある地域であることで住んでいる環境が魅力がなければ、ひとを呼ぶ吸引力がないと感じるのだが、単なる観光地さえ整備されても住んでる市民にとっても魅力があることが必要と考える。
- 7 0 観光でまちに活気と収入があるのはよいが、まちを汚されたり防犯上の課題など市民が安心して暮らせる環境は維持してほしい。
- 7 1 私は片倉城址の近くに住んでいるので、幼い頃からよく片倉城址で遊んでいた。高尾山はミシュランに掲載されたこともあり、観光客が増え外国の方も訪れるようになったが、片倉城址では残念ながら外国の方を見かけたことはない。片倉城址にもカタクリの花など、見所があり、近所の方の憩いの場だけではもったいな

いような気もする。片倉城址に限らず、八王子には観光地として優れている場所はたくさんある。きっと認知度が低いことが、観光が伸び悩む原因ではないか。もっと大きくPRしていてもらいたい。

- 7 2 (1) ミシュラン三ツ星の高尾山、これは素晴らしい観光資源であるがこれ以外に今のところ素晴らしい所が見当たらない。
- (2) 他の地域の真似事ではないが、例えば「八王子キャラクター」(はっちゃん、ハチ君等一市民から募集する)をつくり、これに関する製品、商品(例えば文房具、お菓子、Tシャツ、ネクタイ、タイピン等)を市民、商工業者、学生、主婦、農業者等の意見を取り入れて、よい商品を開発し、それを道の駅商店、デパート、駅ビル、市役所等に置き、宣伝販売をする。
- (3) 従来から資源の見直し。城一歴史とハイキング。
- (4) ニューツーリズムー農業体験、学校めぐり、登山等。
- 7 3 八王子の自然、歴史はとても素晴らしいものである。それでも、八王子を知らない人からは「単なる田舎」と思われているのが悲しい現状である。なので、私自身も含め、八王子の素晴らしさ・魅力を発信できるような取り組みが求められていると考える。
- 7 4 問2-1の観光地で滝山、片倉城址があったがあそこは観光地というより地域の人々の憩いの場という感じがした。高尾山とは別にしたほうがいいと思う。
- 7 5 高尾山はこのところ、登山者が増えている。あえて登山者と書いたが、登山するとは思えない靴で登っている方もいる。どうも「手軽に登れる山」と印象づいているように思える。少なくとも、靴くらいは「ヒール禁止」など、怪我をさせないような取り組みをしてほしい。
- 7 6 (1) ミシュランで有名になった高尾山が「るるぶ」にもなって、高尾へ行く人が多くなったと思う。これから、車人形の舞台も出来ると聞いているが、八王子へ降りるのではなく、高尾に人が集まってしまっているようである。
- (2) 市内の行事では、ユーロードの催しが定着しはじめて人の流れも美術館まで行くイベントが増えたように思う。
- (3) 市内観光バスツアーは昼食持参でもよいので、もう少し安くあちこち巡るとよいのではないか。
- 7 7 ニュータウンには緑と人が共存し、八王子駅前には賑やかで多くの人々が往来し、駅を離れ山の方へ向かえば、人里離れた静かな空間があり・・・と魅力満載だが、一方で力を入れてほしいことは、だんだん活気がなくなっている北口商店街の活性化である。昔は、アーケード街を通るとたくさんの人々で明るいイメージがあった。最近では、シャッターの下りている店が多くなった。八王子には観光スポットがたくさんあるが、観光客が帰りにでも商店街に寄って八王子の名物、名産品を購入してもらおうよう活気があふれている町並みに戻ってほしい。

- 78 多くの人に「八王子」を知ってもらおうということはよいことであると考え。しかし、昨今の高尾山を見ていると人が集まりすぎ、観光客のマナーの悪さなど、その弊害が見受けられる。観光地化が進み外部の人間があふれることにより、八王子に暮らす人々が地元を愛せなくなる恐れもあると思う。人を集めることを目的とするのではなく、八王子のすばらしいところを紹介することが観光行政として大切なことではないか。
- 79 私は高尾で育ち、原体験としての自然というものの独特な力を日々思っている。化石のある川原や縄文遺跡等からの歴史と文化、そして貴重な生態系を有する郊外のこの地は、海外、都心の人々を豊かにする可能性の宝庫であり、何よりも市民がその恩恵をうけ、誇りと自覚をもつことで方向性が見えるように思う。専門家を中止とした、シニア、育児世帯、学生などの多層な組織による八王子ならではの骨太な質の高い観光を夢見る。高尾山は、性急に莫大な観光客を受け入れる体制を整える必要がある。地元の小学校の総合学習が高尾山観光をテーマに活動しているのも素晴らしいと思う。
- 80 私は北海道出身で三重に転勤し、八王子にきて3年近く、地方からの来客の接待にいつも悩んでいる。今のところ、高尾山と道の駅にお連れするのが定番となった。その意味で八王子は観光に弱いところと思っている。関東一という高尾山を抱えているのに、満足度は今ひとつである。グルメな時代でもあるので、いい空気を吸いながら、八王子の農産物を活かしたグルメな料理店を高尾山に並べるとか、道の駅にしかない農産物、レストラン等工夫をこらした観光行政をお願いしたい。世界から集うオリンピックの東京開催も夢ではないのだから、若いカップルや高齢者が楽しめる（イルミネーション、おしゃれな建物等）観光の八王子に生まれ変わってほしい。
- 81 八王子観光協会が、ファルマ 802 ビルの中にあるが、もう少し目立つところに設置してほしい。
- 82 八王子に来たとき、何が有名なのか全く知らなかった。何か一つでいいので、大きく取り上げ、もっとPRされたらと思う。せっかくミシュランでも取り上げた高尾山という素敵な山があるのに、何かもう一つ・・・という感じがする。メディアへのアピールや、マップづくり、イベント、特産物のPRなど・・・いかがでしょうか。高尾山だけにしかできないこと、そこでしか手に入らないもの・・・という希少性をもっと伝えていかれたらよいと思う。
- 83 学園都市の強みを活かしたニューツーリズム観光はどうだろうか？大学で造詣を深めるツアーがあったら楽しいと思う。大学側としても宣伝効果がある。美術系・美容系は特に女性の集客が期待できるのではないか。また、親子で参加できるようなものもあってほしいと期待する。

